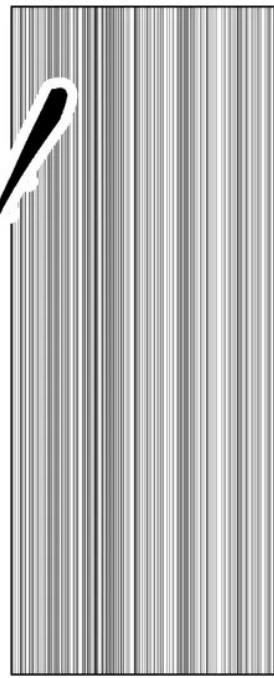


幼なじみのお姉ちゃんが
ボク専属のメイドになって
せめてきたので

あからせセックス

した話





ファン
ファン

長谷川ーっ!



申し訳
ございませんでした

許して下さい

……

ここんところ
毎日だぞ

でも毎日
気持ちよさそうに
イッチャってますよ？

そりや気持ちいいから
イッチャうけど……

って全然反省
してないだろ
お前！

反省してますよ。
だから自戒のために
ぼっちやまの精液を
味わい続けてます

今すぐ吐け！

ドロォ……

仕方ない
です……

飲めとは
言っただろ！

ゴクン！

ぼっちやま

私は心配なのです

……急に
何だよ？

ご存じの通り、
先日当主の総一様が
ご隠居され

現当主は
ワタルぼっちゃまと
なりました

それにより
現在屋敷の中には

ワンチャン狙いの
メイドが
溢れかえって
いるのです

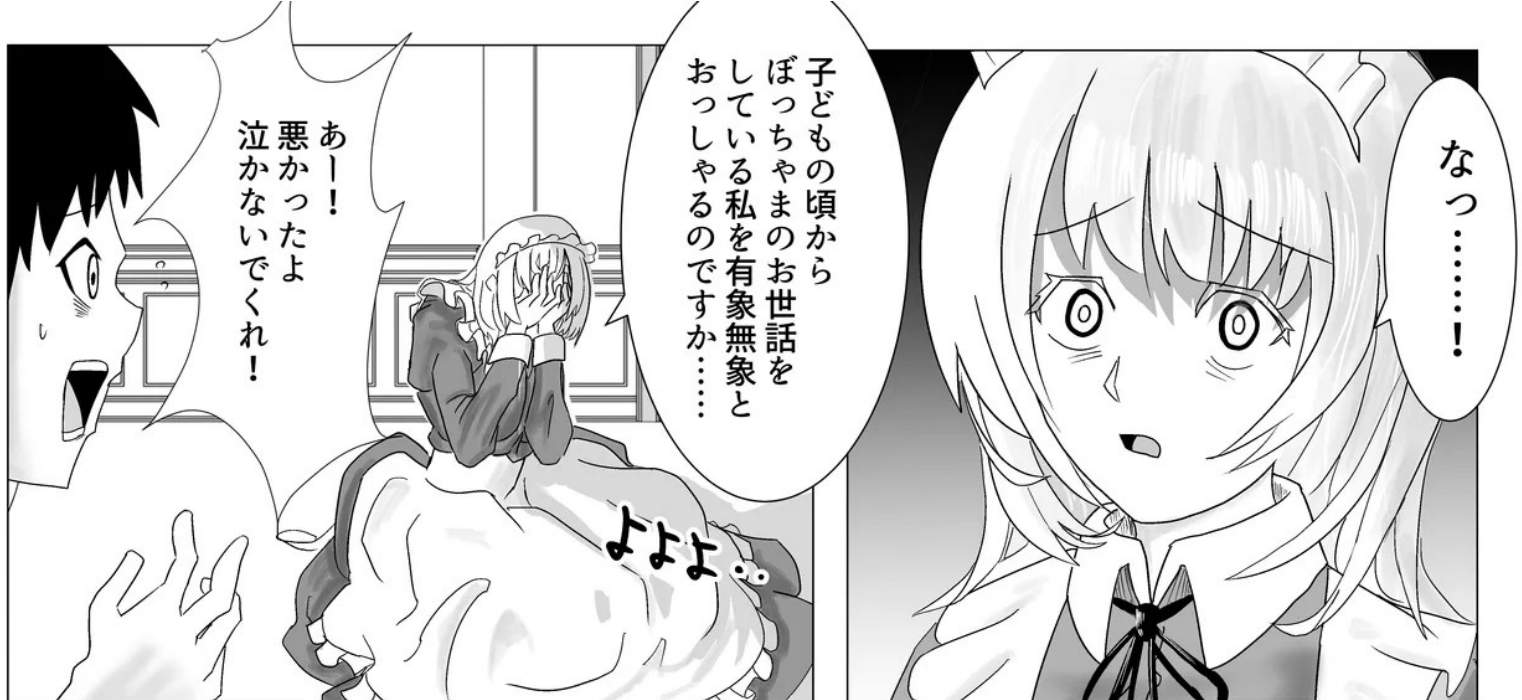
そんな有象無象と
万が一過ちが起こって
しまったらお家の危機……

なのでっ！

カッ

この私が体を張って
その獣欲を鎮めて
さしあげているのです！

お前も有象無象
やないかい



なっ……!!

子どもの頃から
ぼっちゃまのお世話を
している私を有象無象と
おっしゃるのですか……

あー!
悪かったよ
泣かないでくれ!

よよよ



悪いと思ってます??

干ッ

思ってる
思ってる!

……おっしゃいましたね

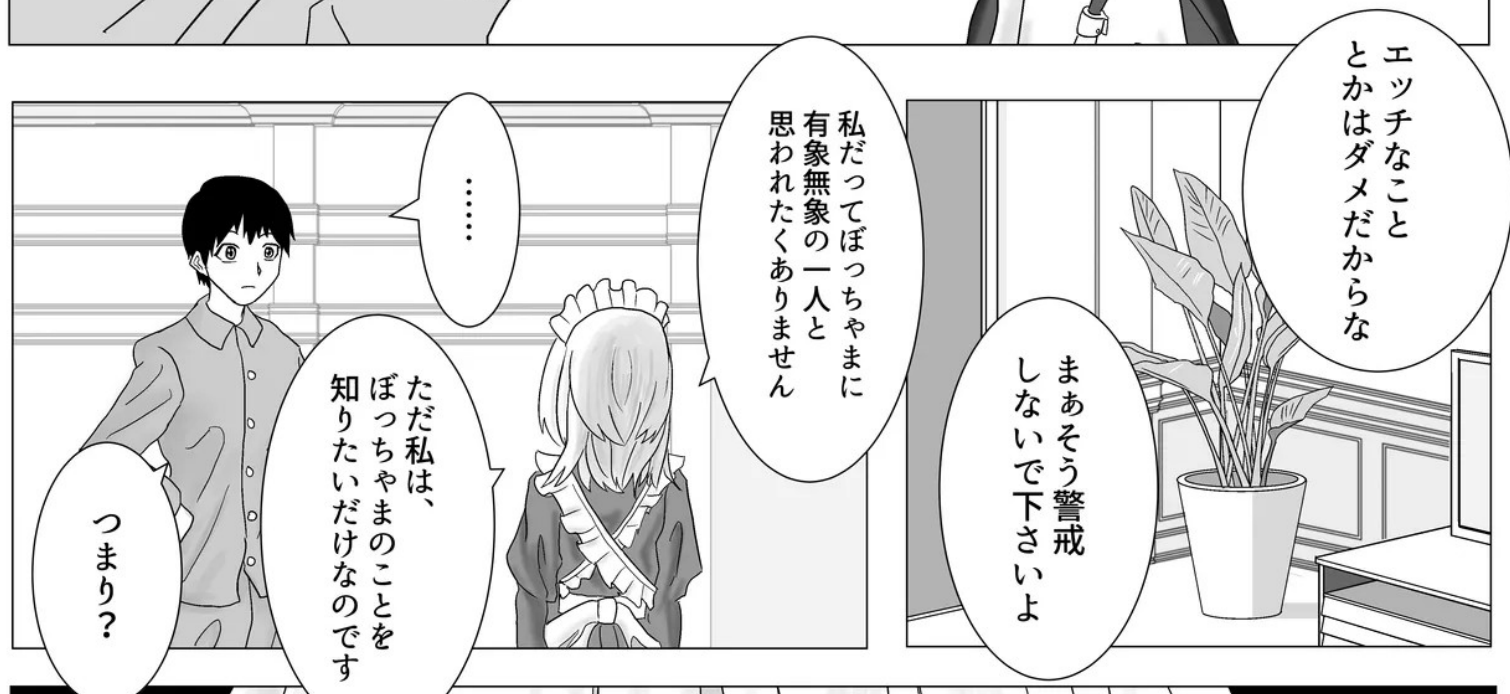
キラッ

!?



それではぼっちゃま
私のお願いを
聞いて下さい

詐欺だ!







小学校で
仲間はずれに
されるんだ

おぼっちゃまって
バカにされて……



ルリ姉ちゃん……



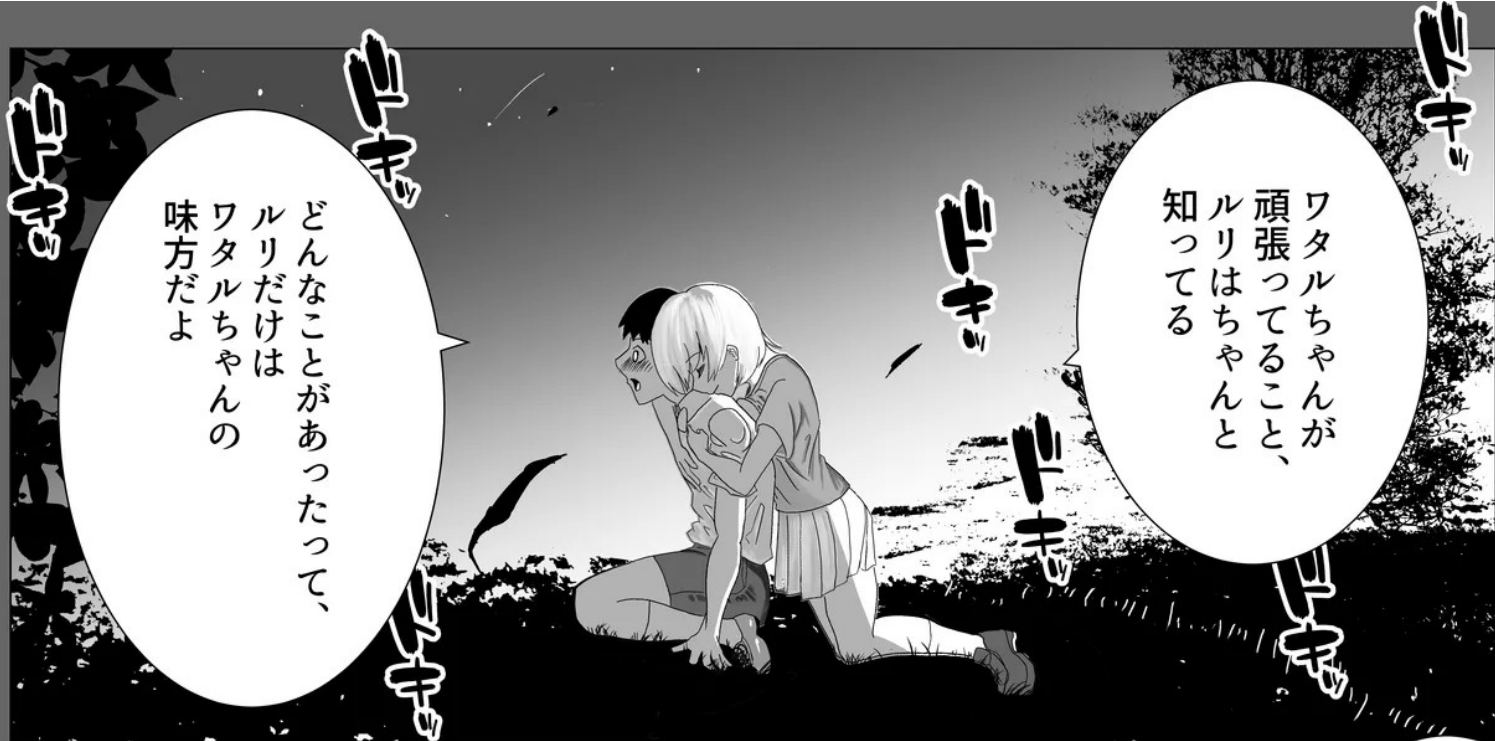
ボクがしたくて
してるんじゃないの……！

ハンカチ持つのも
ネクタイするのも
全部

グスッ



大丈夫……

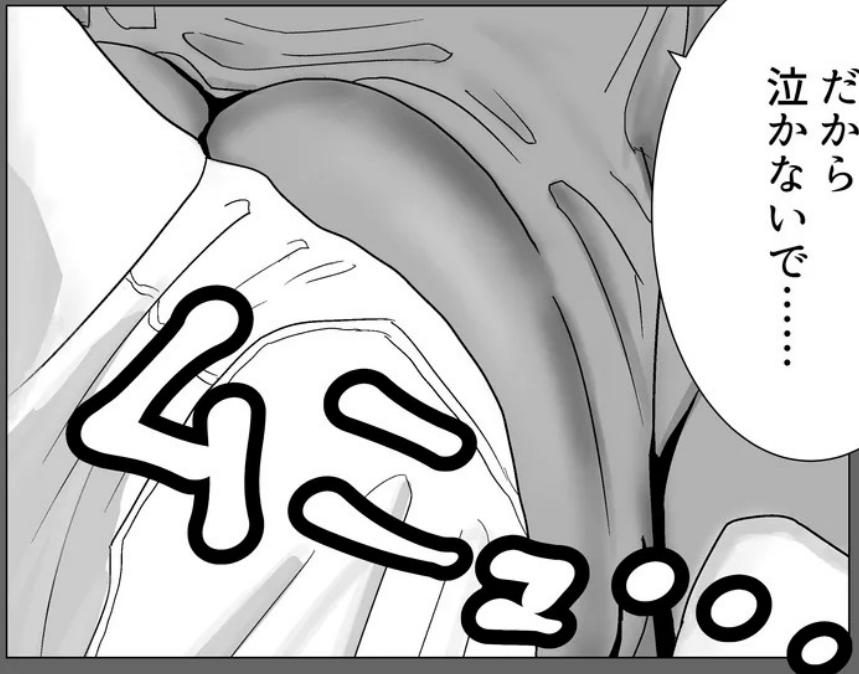


ワタルちゃんが
頑張ってること、
ルリはちゃんと
知ってる

どんなことがあったって、
ルリだけは
ワタルちゃんの
味方だよ



うん
ありがとう……



だから
泣かないで……



以後よろしく
お願いいたします

長谷川ルリです

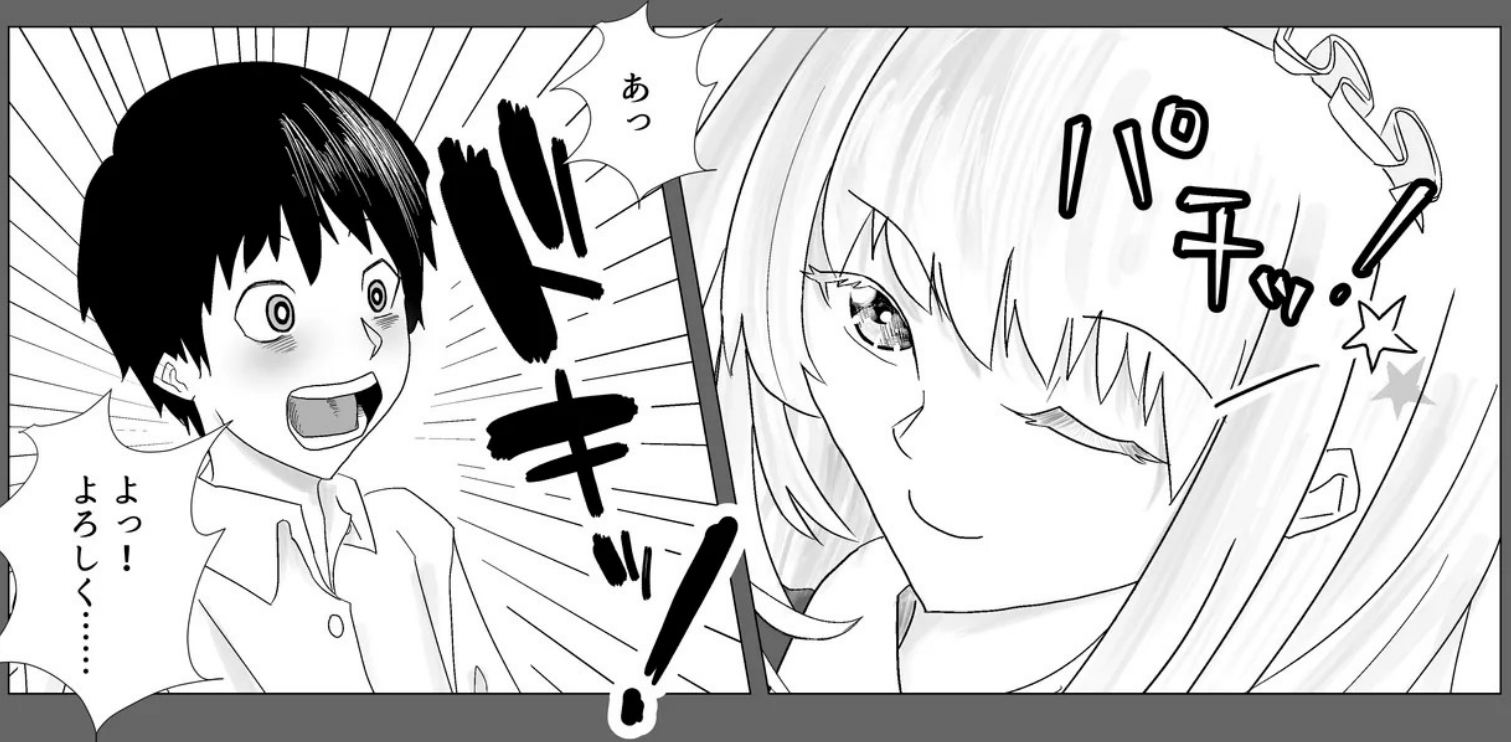


はい

長谷川、
ご挨拶を

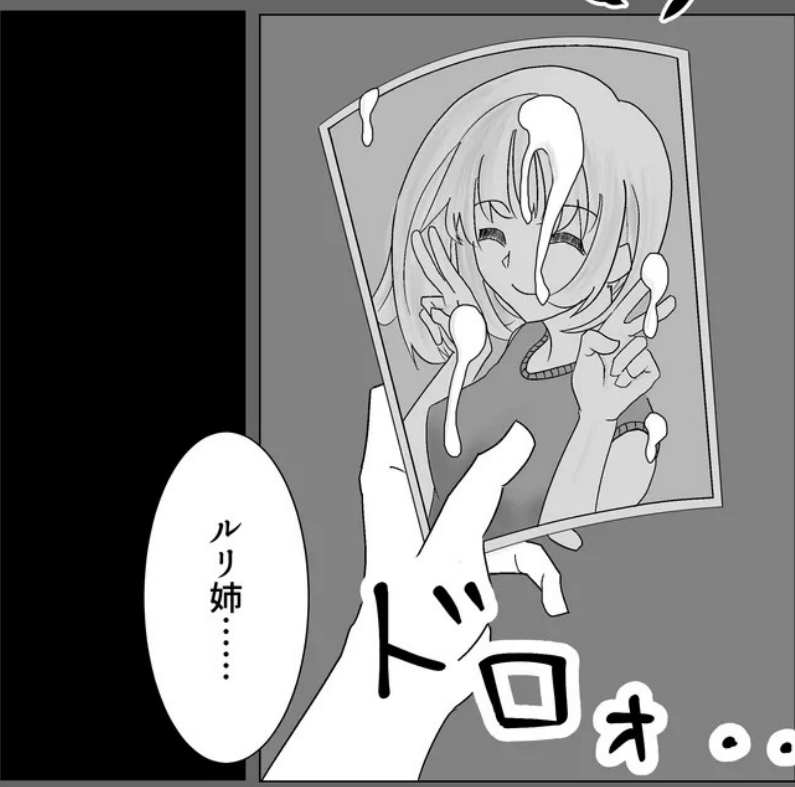
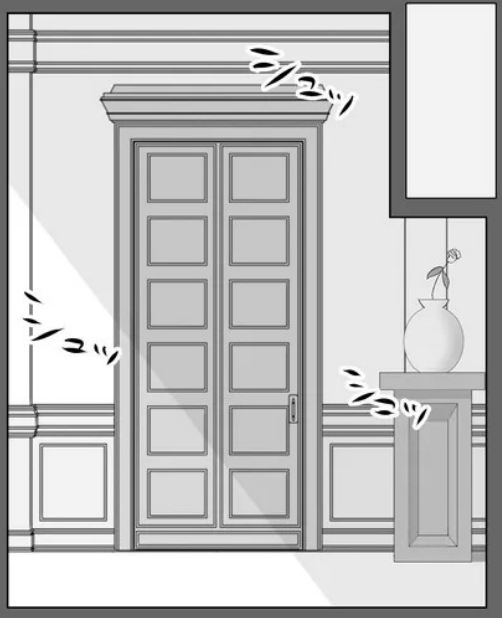


本日よりこの者が正式に
ワタルぼっちゃま付きの
メイドになりました



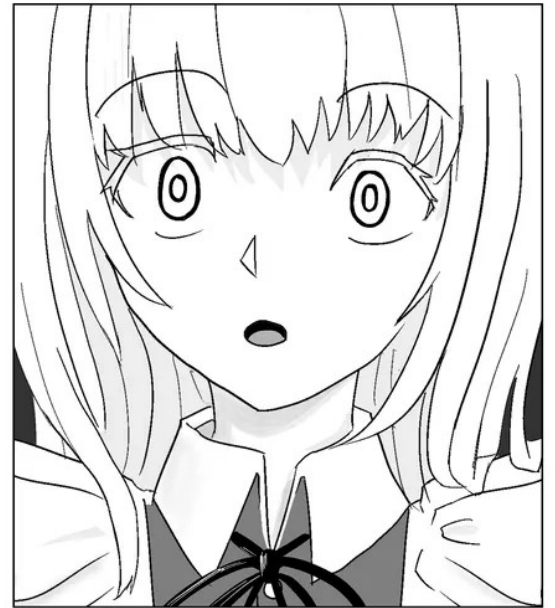
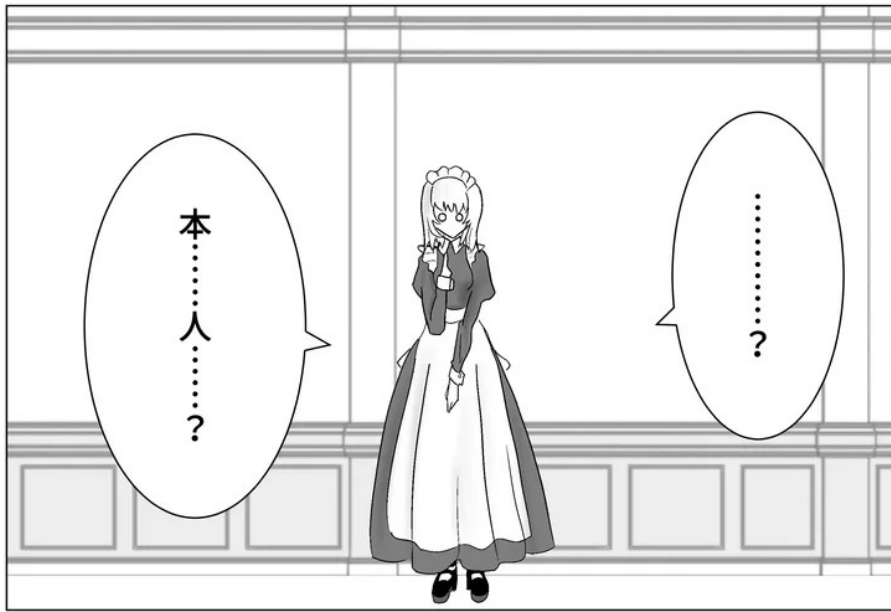
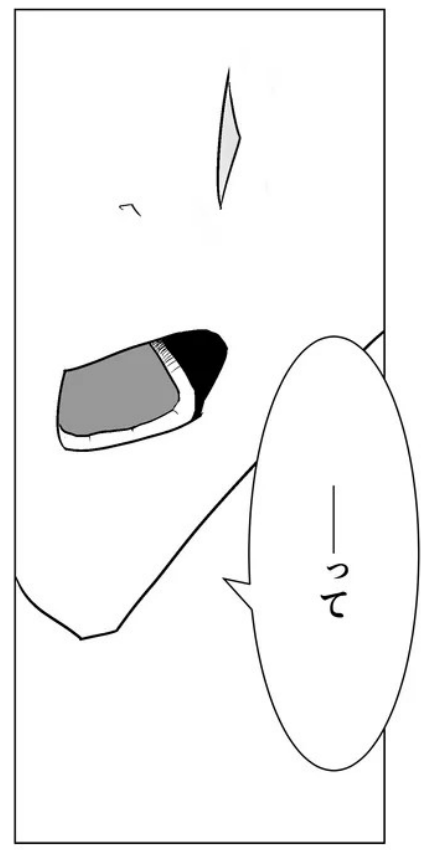
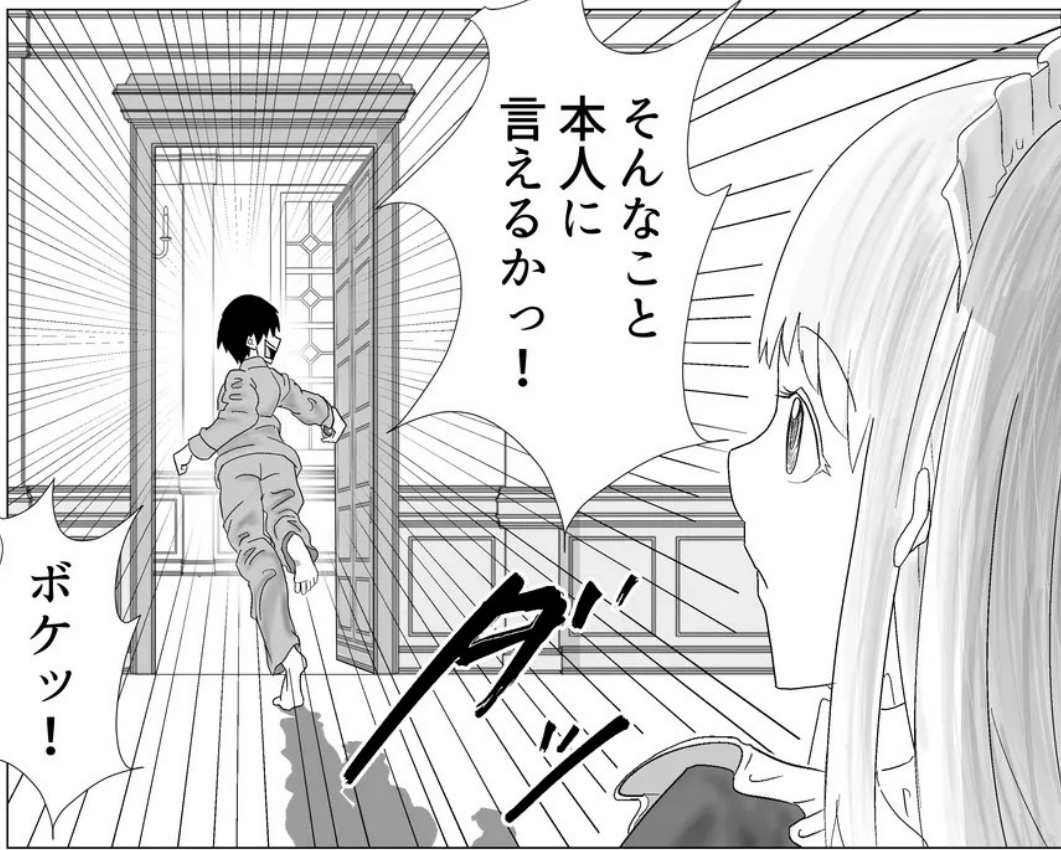
ルリ姉

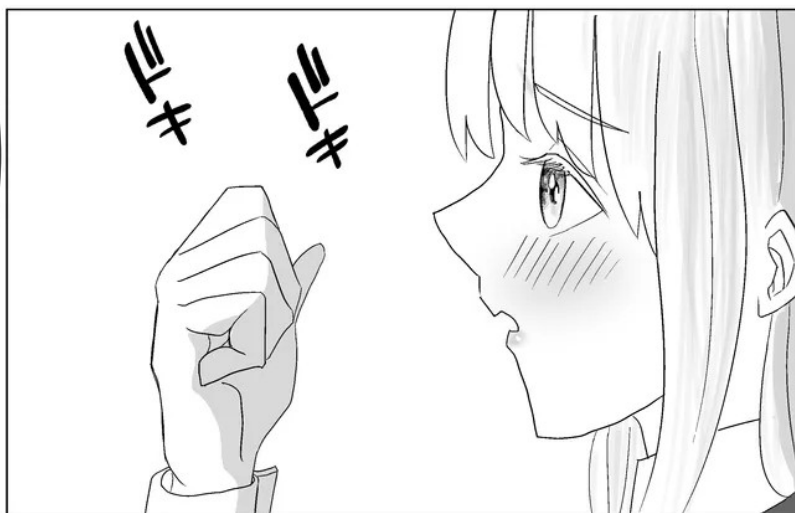
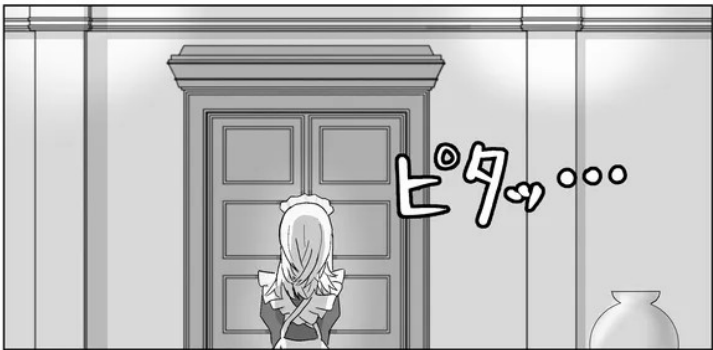
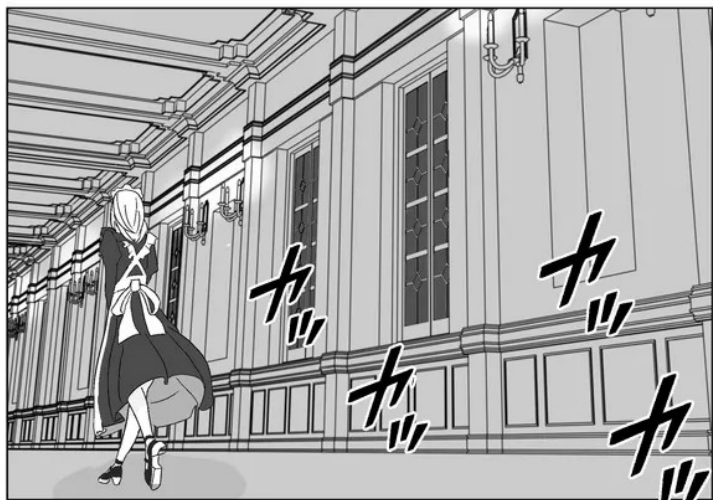
ルリ姉

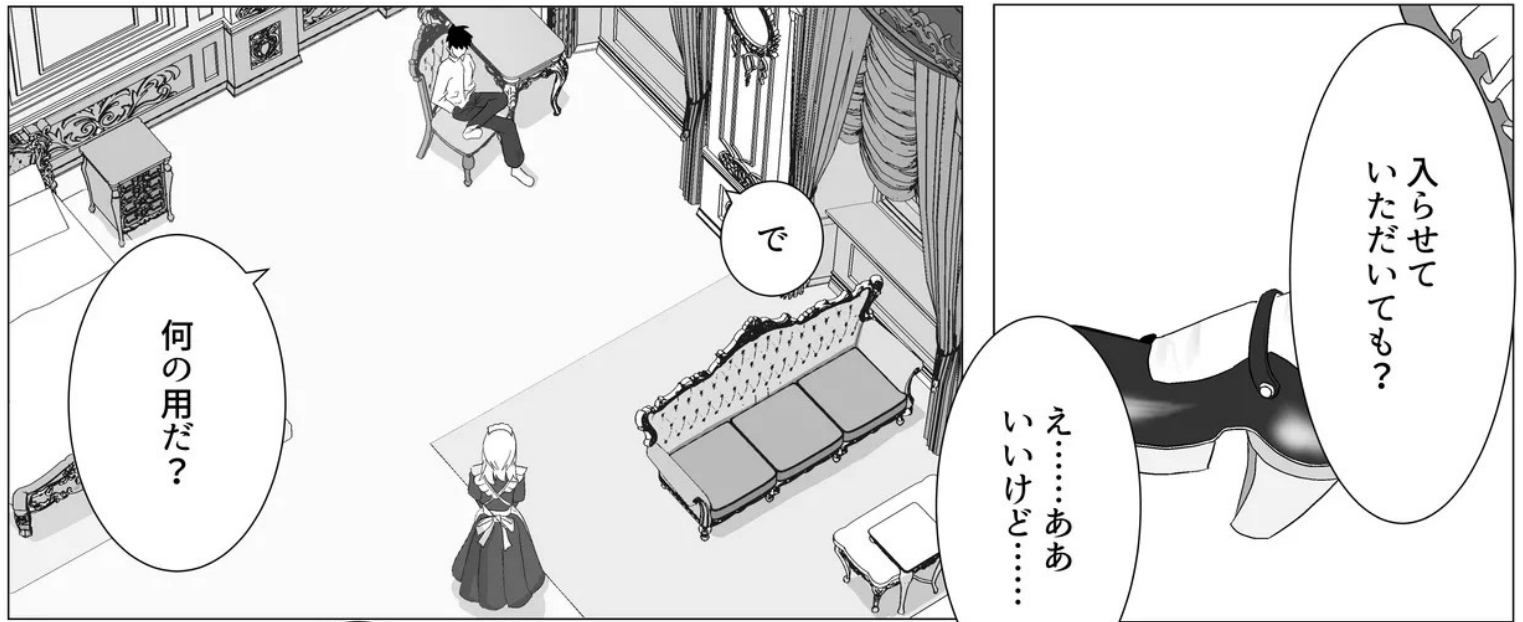


ルリ姉.....









私、うれしく
なっちゃって……

ずっと、
自分には魅力が
ないんだって
思ってたから……

!

ごめん

俺はあの日、
思ってた
しまったんだ……

そうか……


君はそんなことを
考えていたのか……

メイドになった
君なら

命令すれば
エッチなことを
できるんじゃないかって……

ビクッ!


ビクッ!



そんな自分が
たまらなく
嫌で

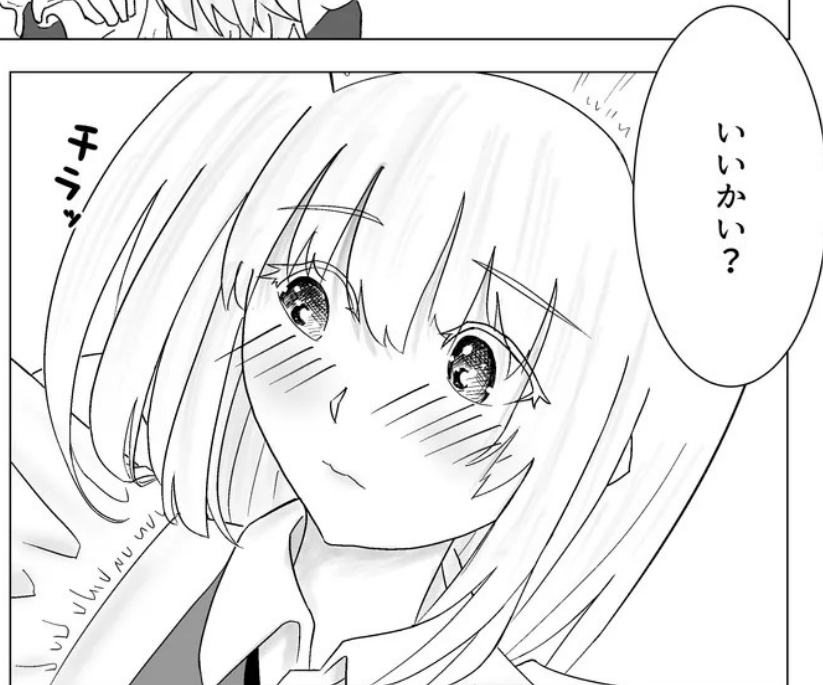
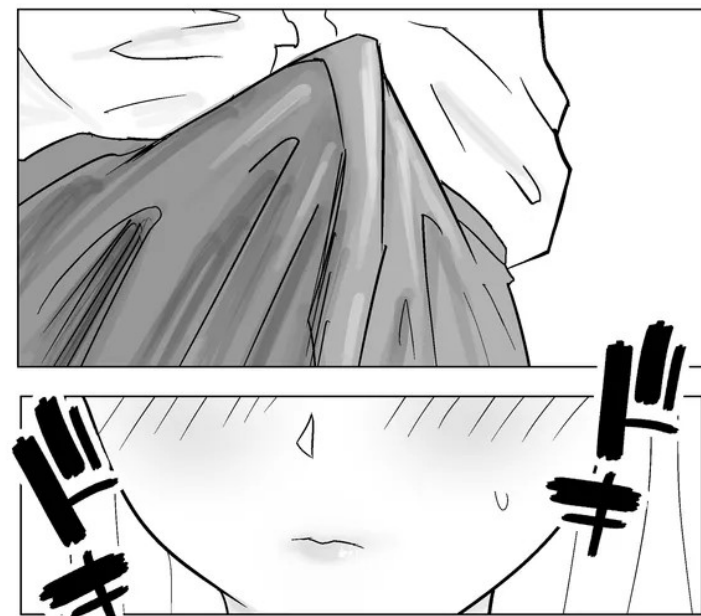
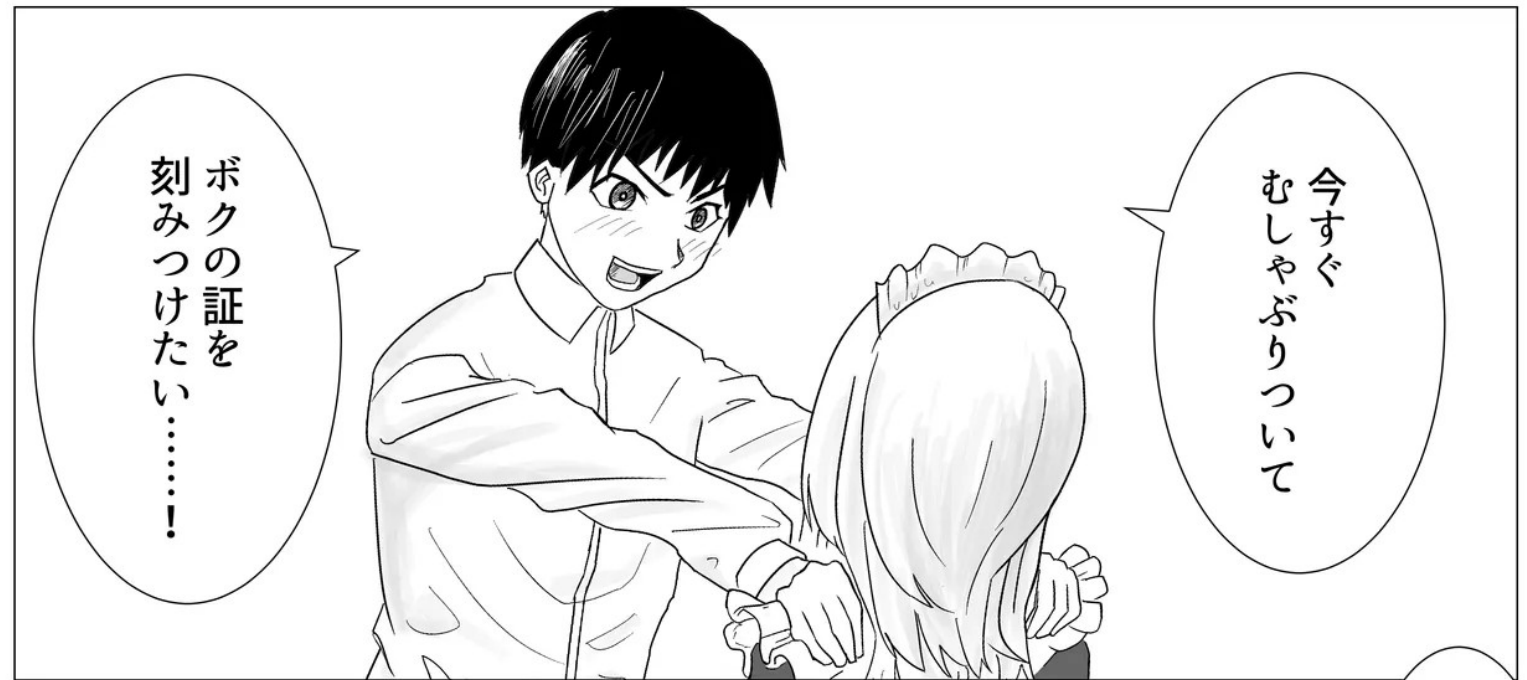
とにかく
自分を
律して

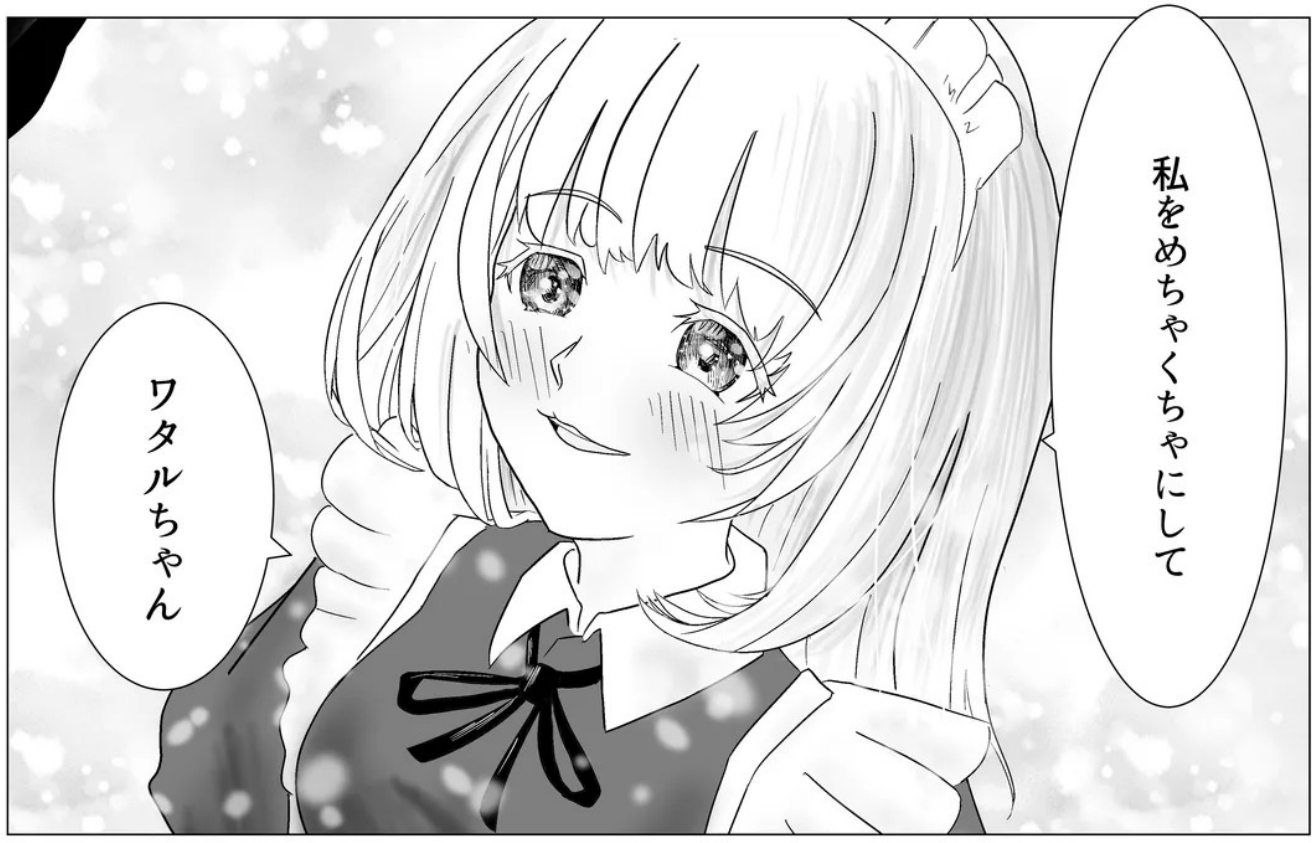
メイドと主人の
関係を保とうと
していたんだ
……ごめん



ルリ姉
大好きだ

ずっと君を、
めちやくちやにしたいと
思ってた

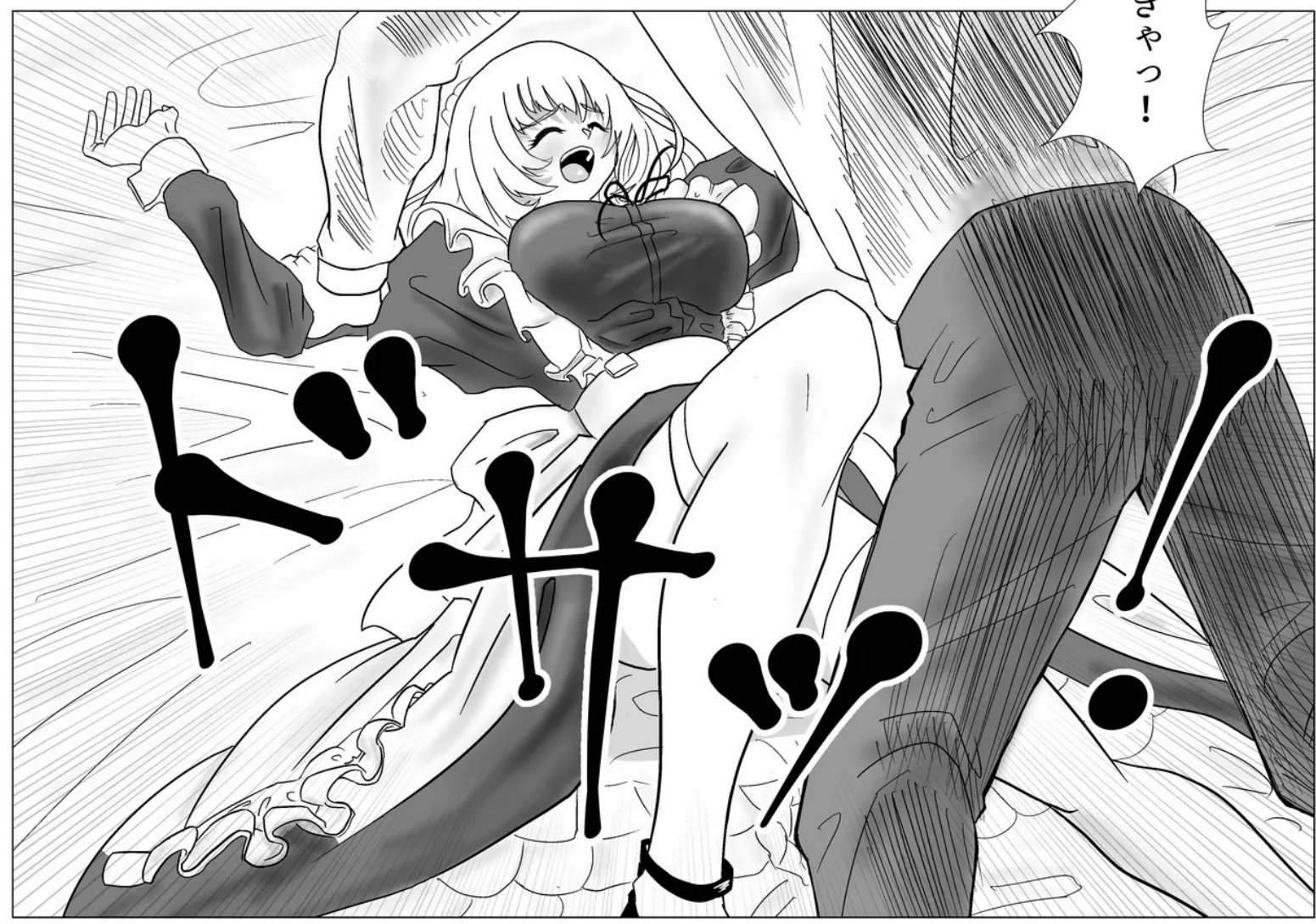
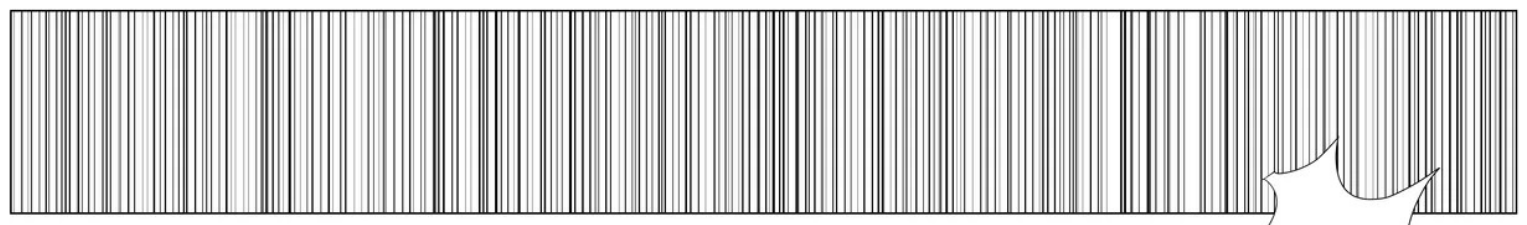




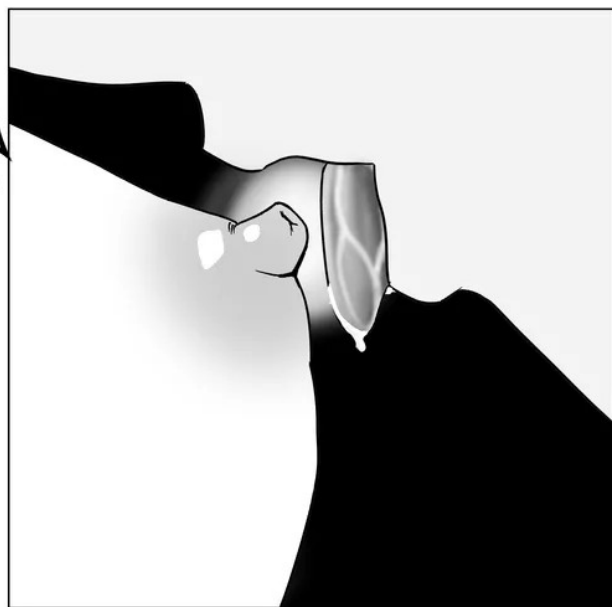
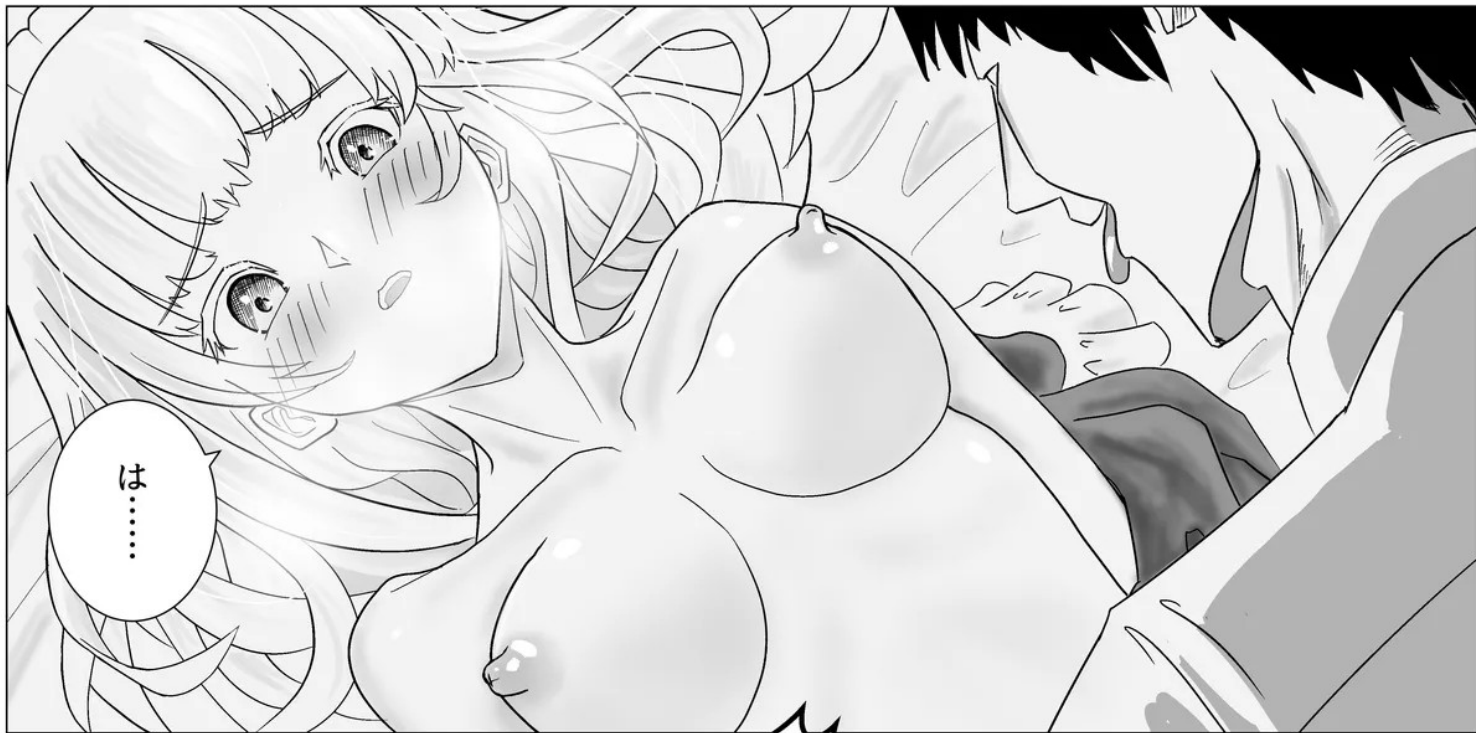
ワタルちゃん

私をめちゃくちゃにして

いいよ！

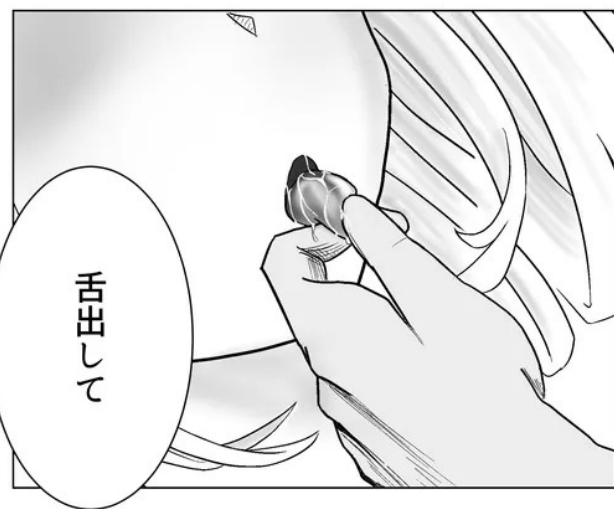


きゃっ！

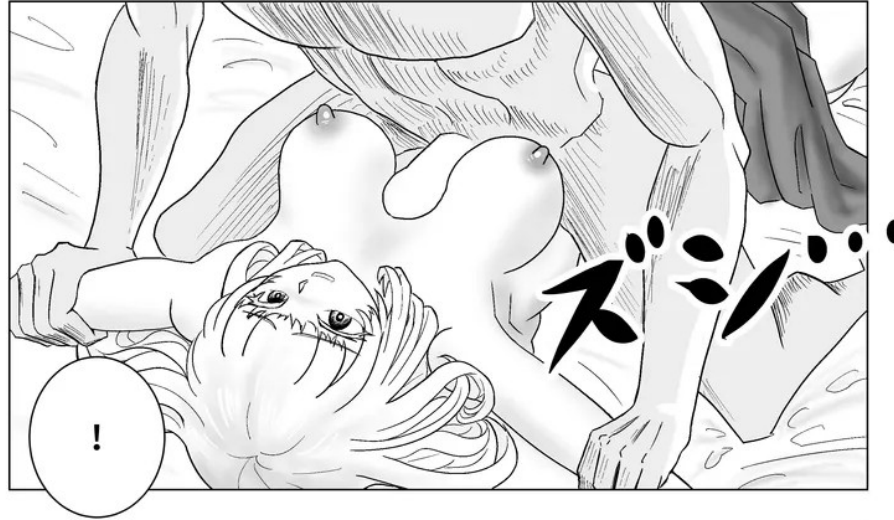




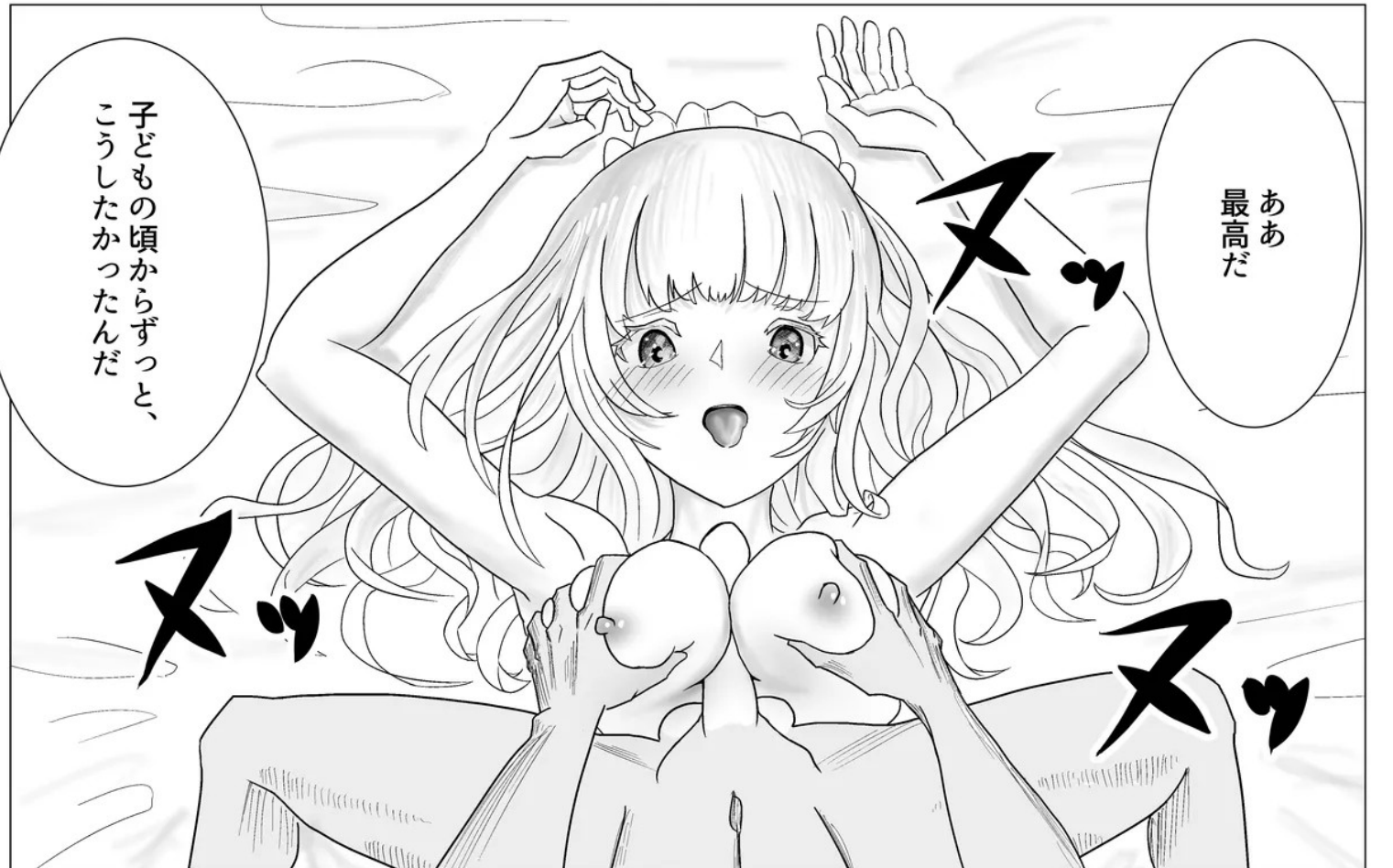
綺麗なピンク色だ



舌出して

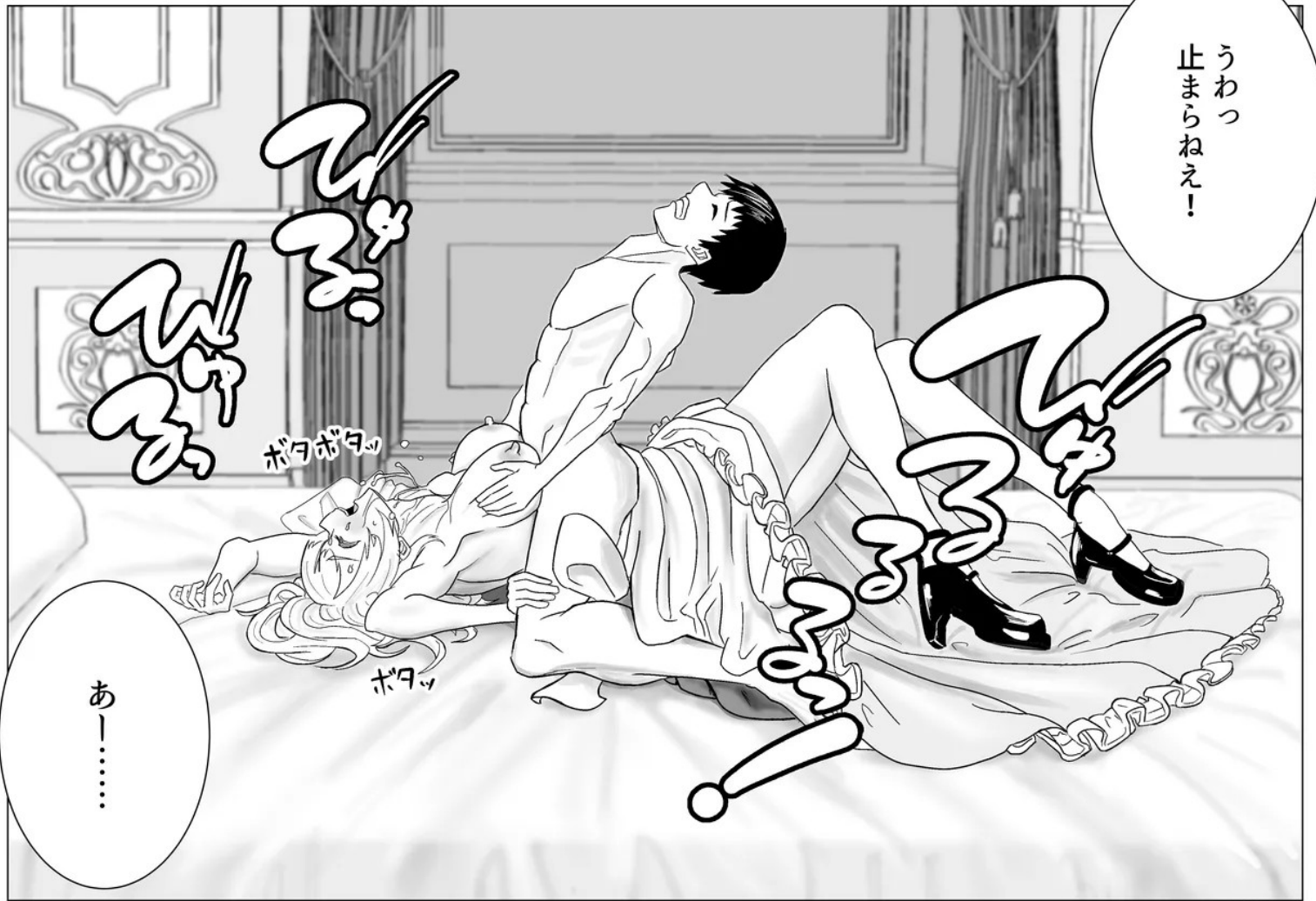


!



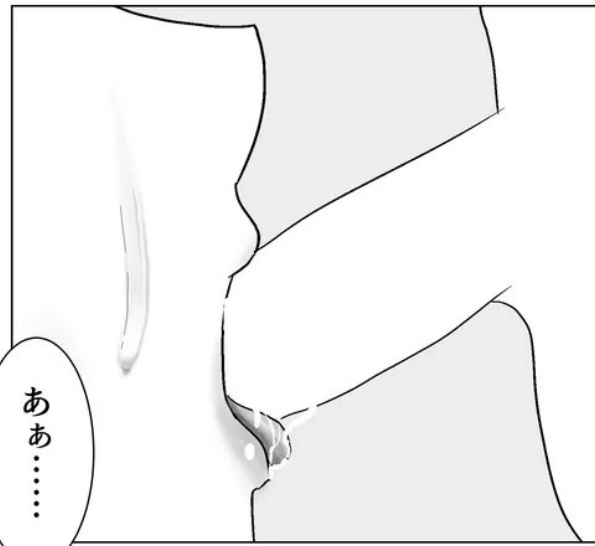
ああ
最高だ

子どもの頃からずっと、
こうしたかったんだ



うわっ
止まらねえ!

あー……



ああ……



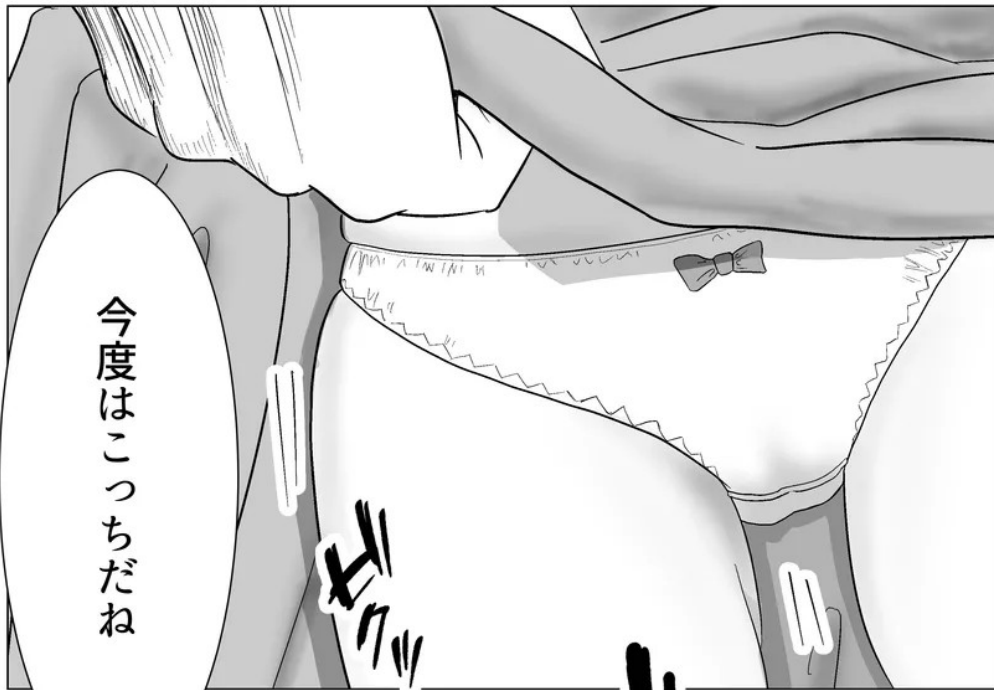
ほら
ルリ姉

なめて
キレイにして



あー
気持ちいい

1回出したくらいじゃ
全然おさまらねー



今度はこっちだね

グキョッ



は...

えっ

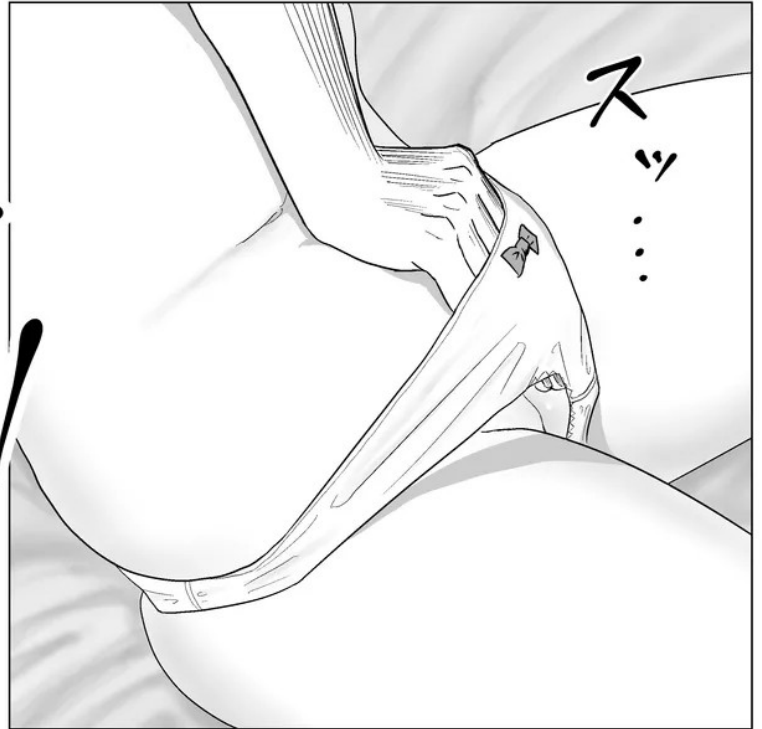
ちゅぽっ

...



んっ!

グキョッ!



スッ...



グキョッ

グキョッ

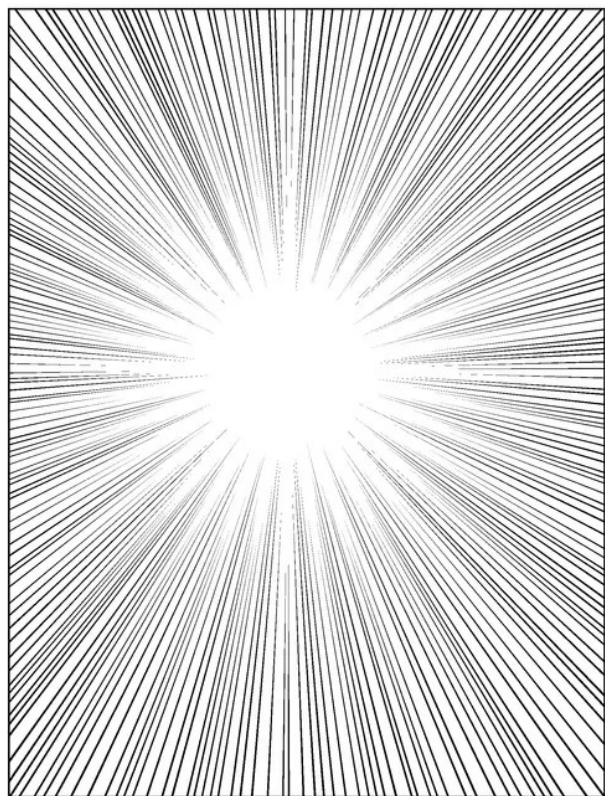
あっ!

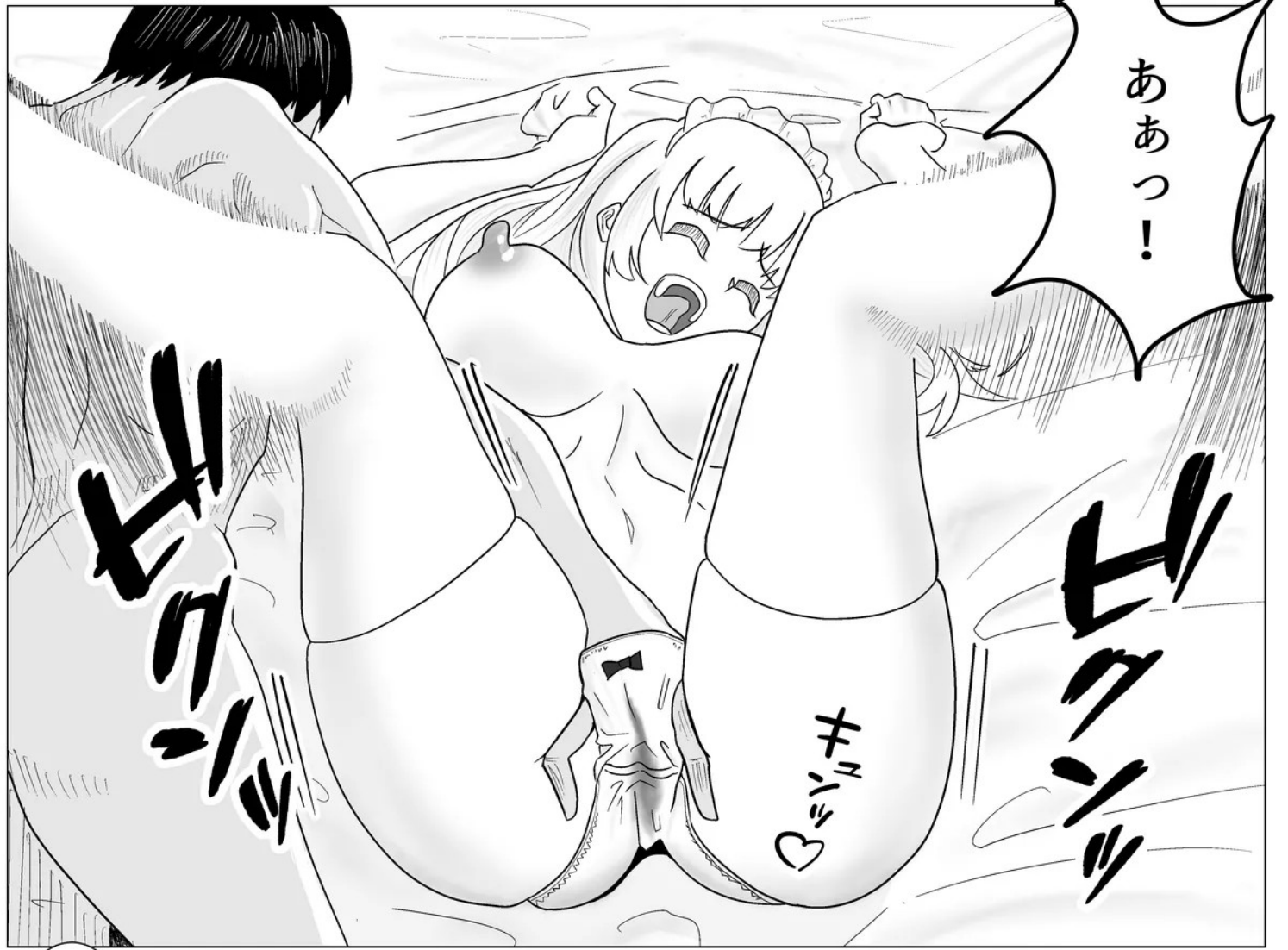
あっ!

もしかして
今までも、
俺のナメながら
濡らしてたの?

あれ?
もう下着に染みるくらい
ぐちよぐちよだよ?

グキョッ





ああっ!

ヒクッ

ヒクッ

ハムハム



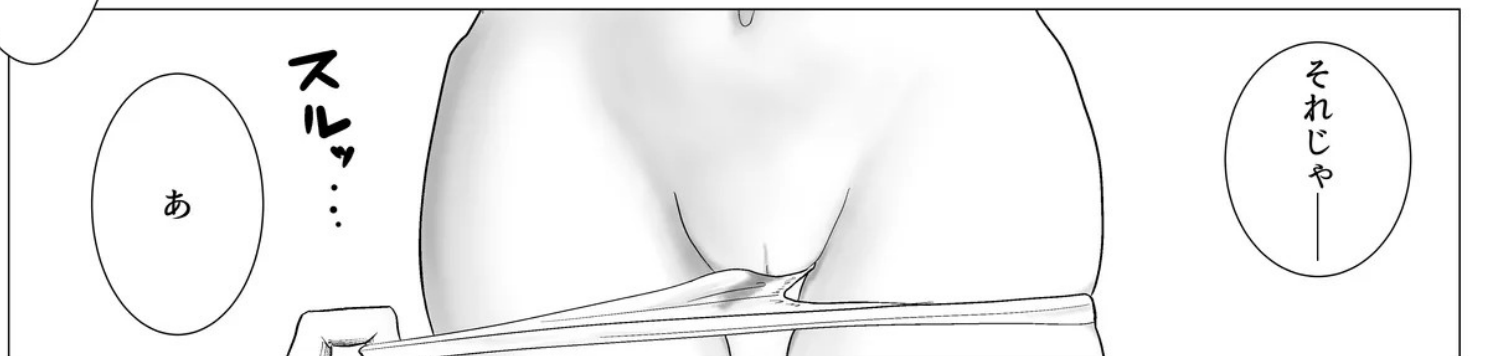
こんなに汁を
溢れさせて

カアアアア

いやらしいメイドが
いたもんだなあ

ルリ姉のココ、
ボクの指を
キュッキュー
締めてきてるよ

イツちゃったね



あ

スレッ...

それじゃ



そろそろ
いいかな



私のいやらしい
おまんこに、
ご主人様のおちんちん
挿れて下さいって

!?



ついに
ワタルちゃんと
ひとつに

おねだり
して?



しないなら
ここで
やめとくけど？

なっ!?



分からない

.....
どうしてだろう

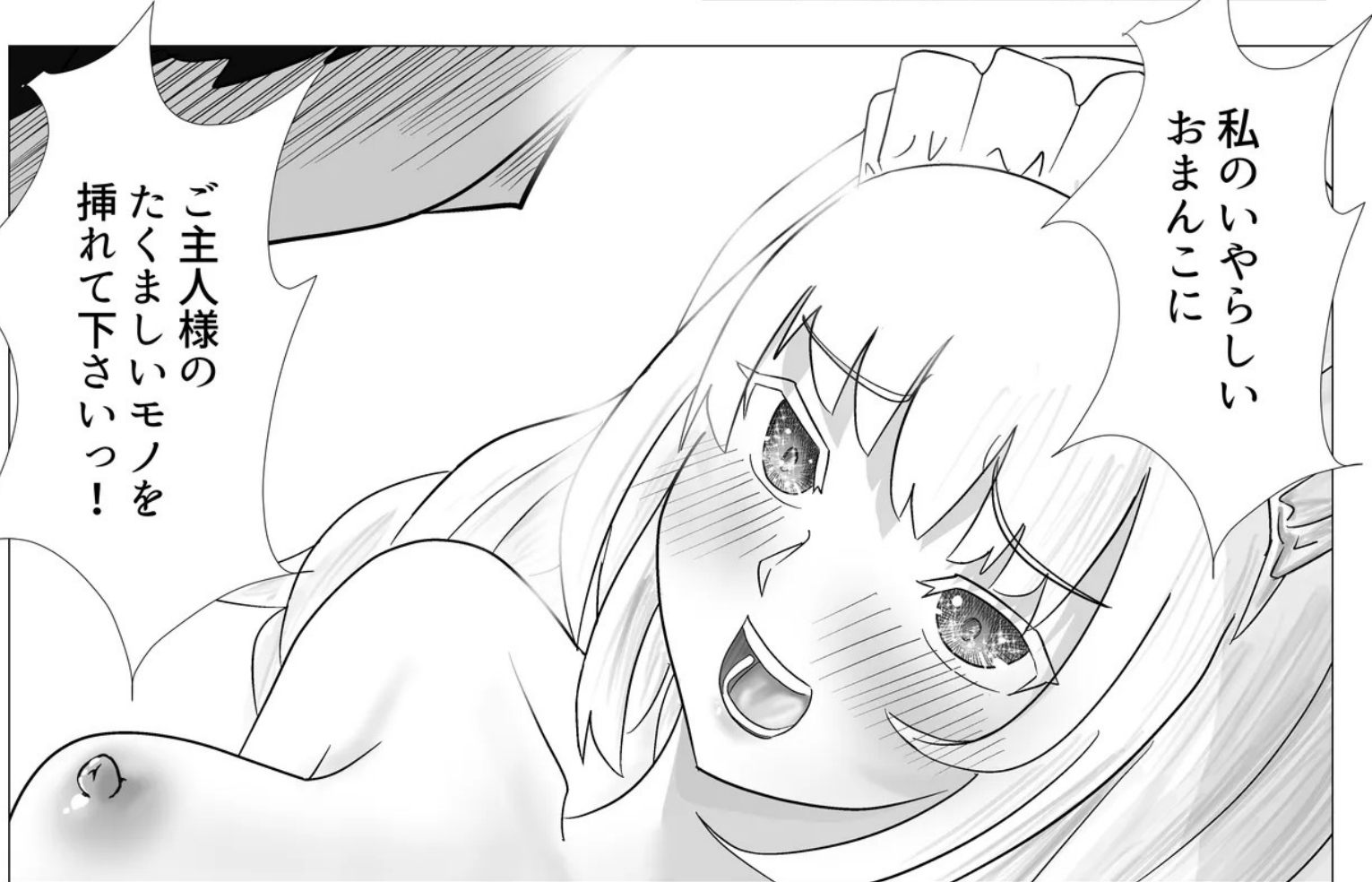


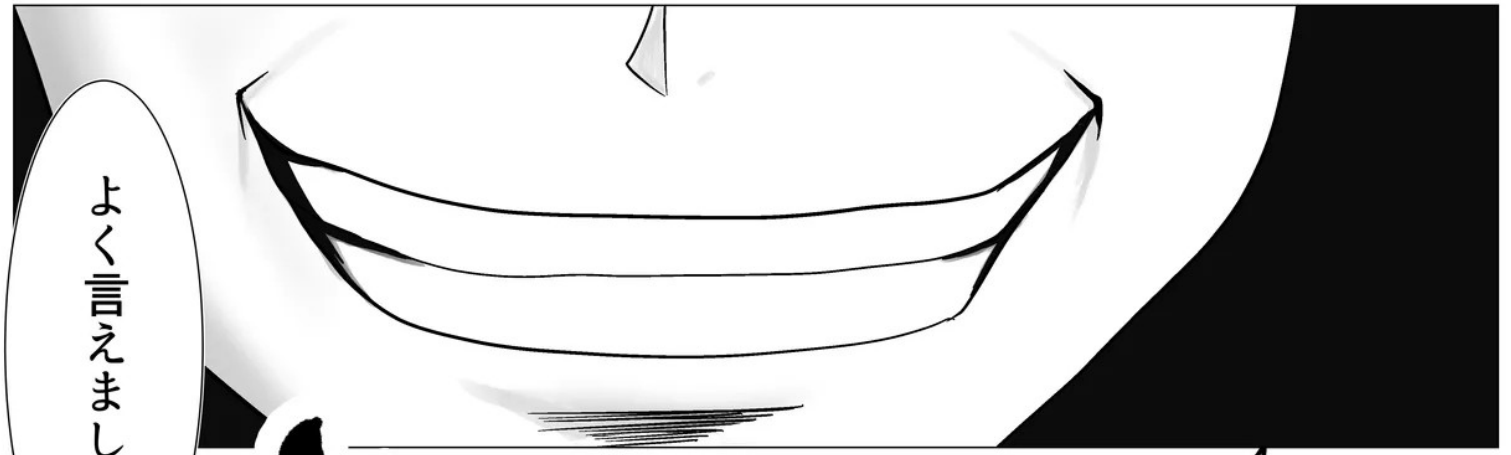
どうして.....?



なんだか興奮してきて、
もっとイジメたく
なってくるんだ

でもおとなしくボクの
言いなりになってる
ルリ姉を見ると





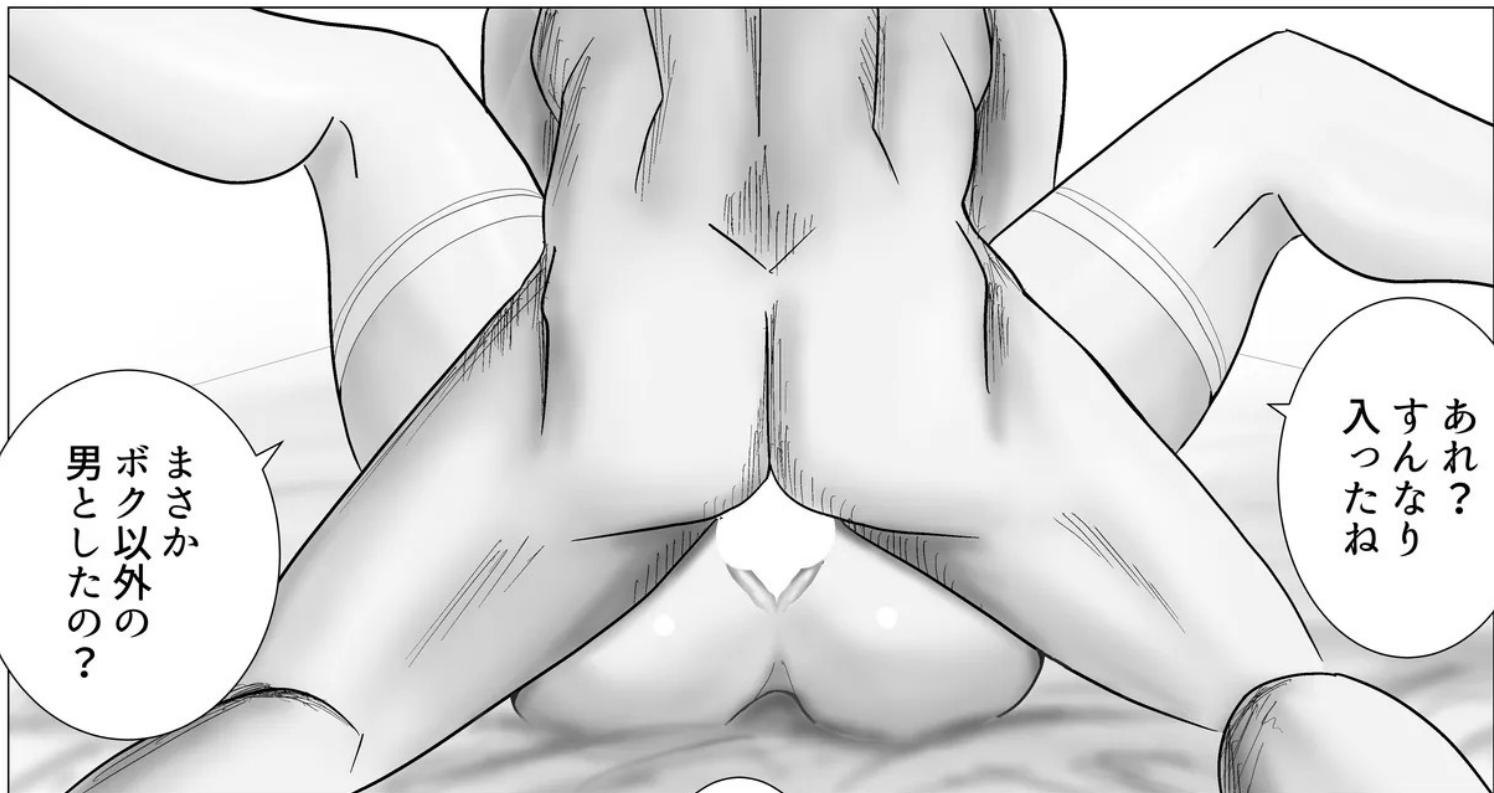
よく言えました



あっ！

ああっ……！！

ドドド



あれ？
すんなり
入ったね

まさか
ボク以外の
男としたの？



そ、それは……

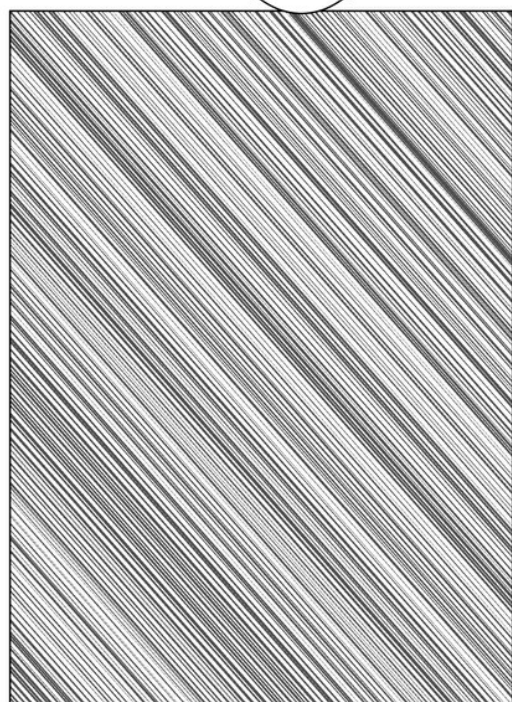
言えよ

ひ、ひとり
シてた時に……

オモチャで
何度か
その……



あっ！



そっか。
ちよつと
シヨツクだなあ

あつ

あつ！

オモチャに
ルリ姉の処女は
奪われちゃったのか

初めてのっ

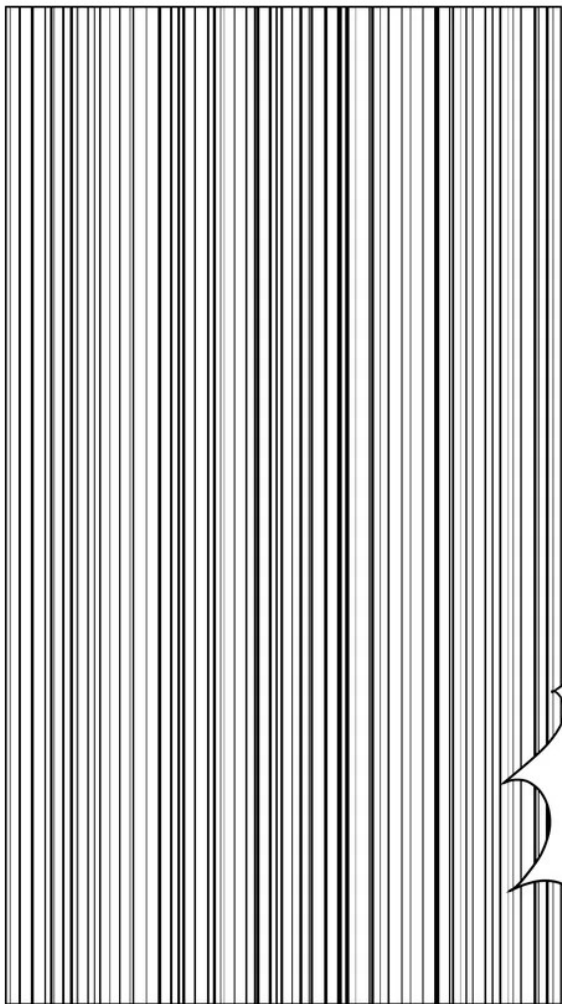
あつ

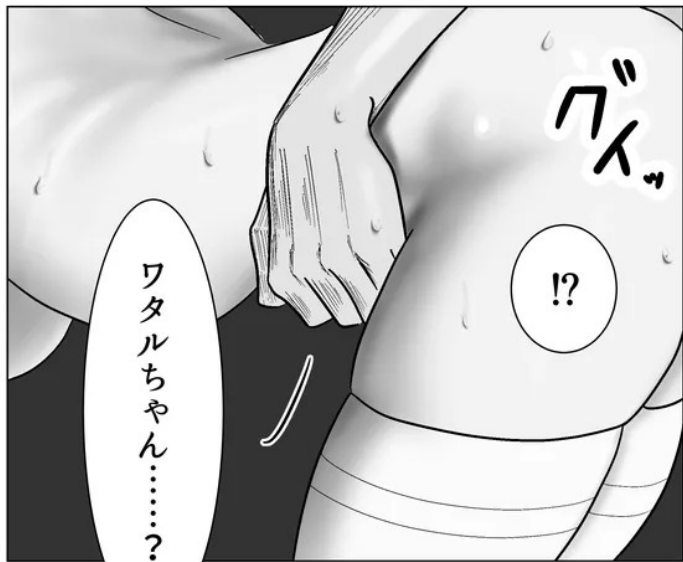
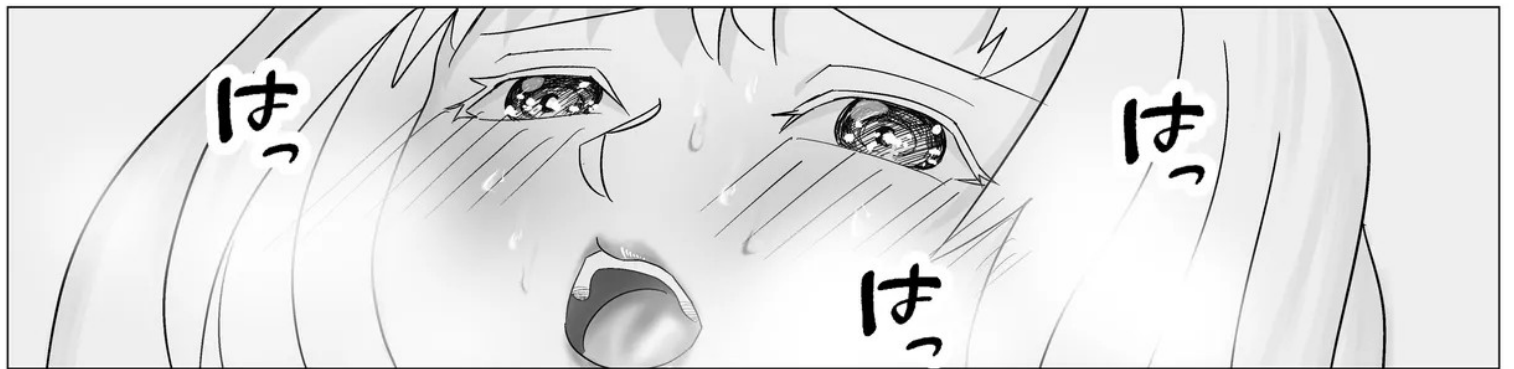
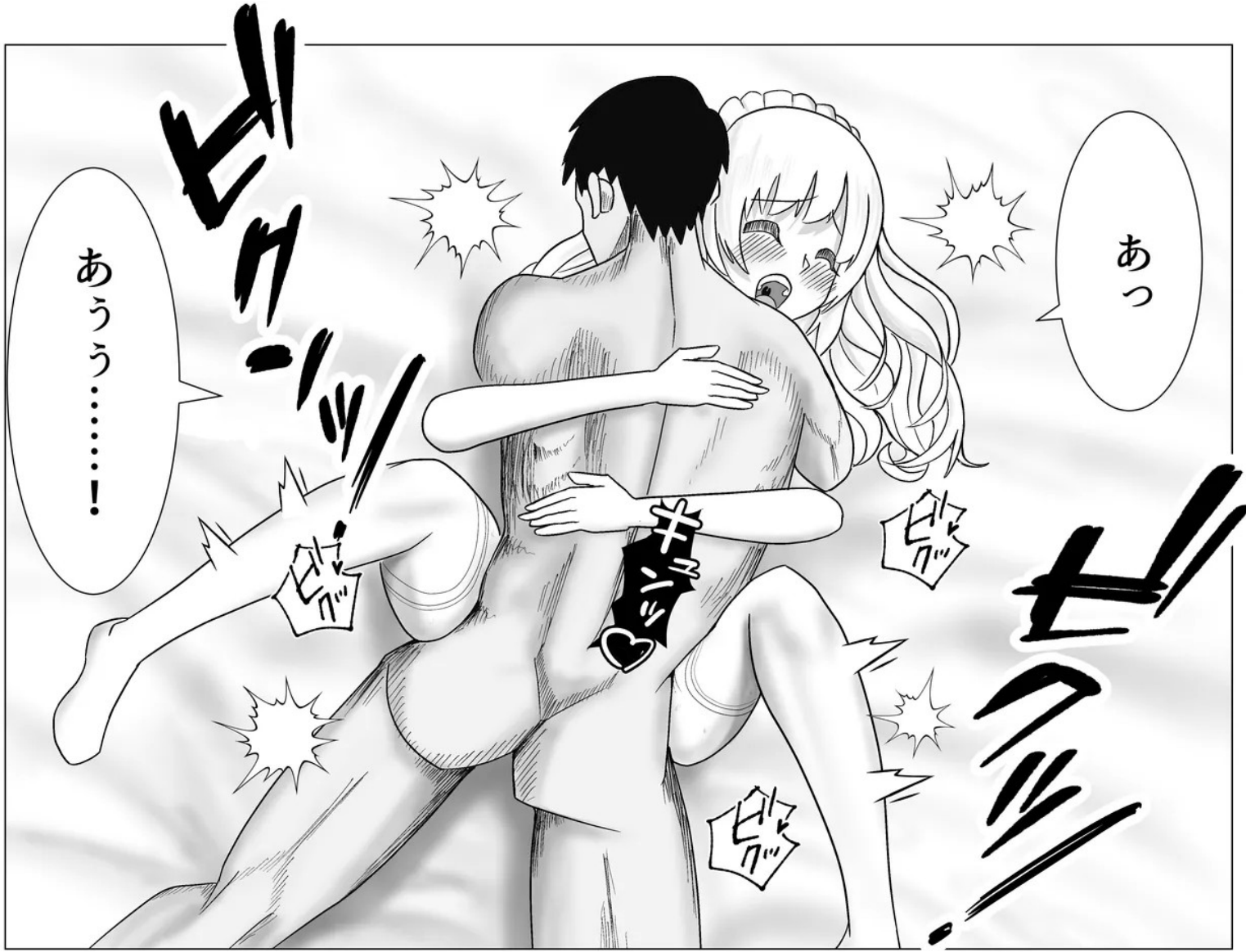
ワタルちゃん
だからっ！

許し——

んうっ！

人っは！







あっ!!



ああっ!

あーっ
あーっ
あーっ



まって!
まだっ!

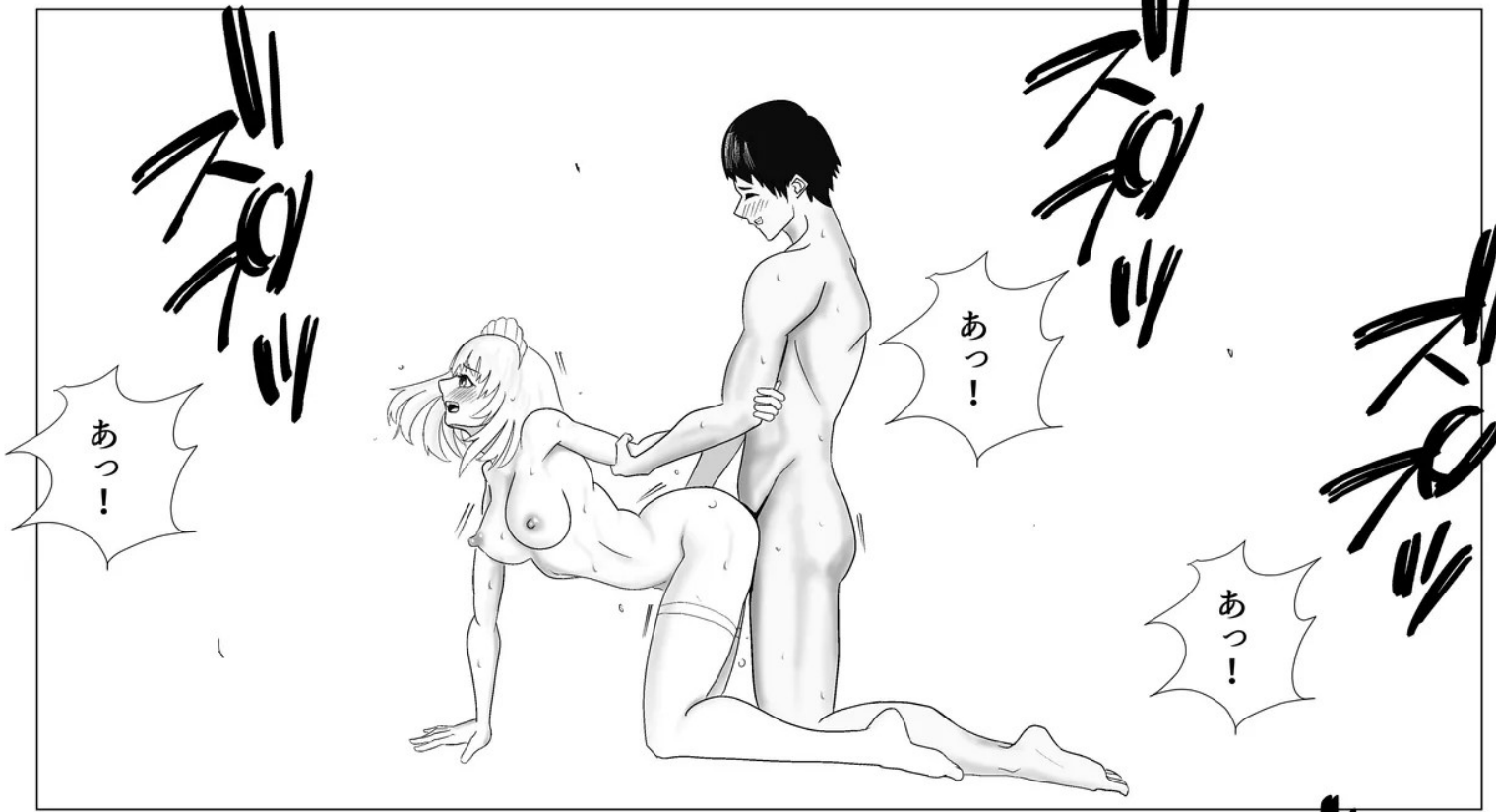
あっ

イッたばかり
だから!

あーっ
あーっ
あーっ









ご主人様……

はい

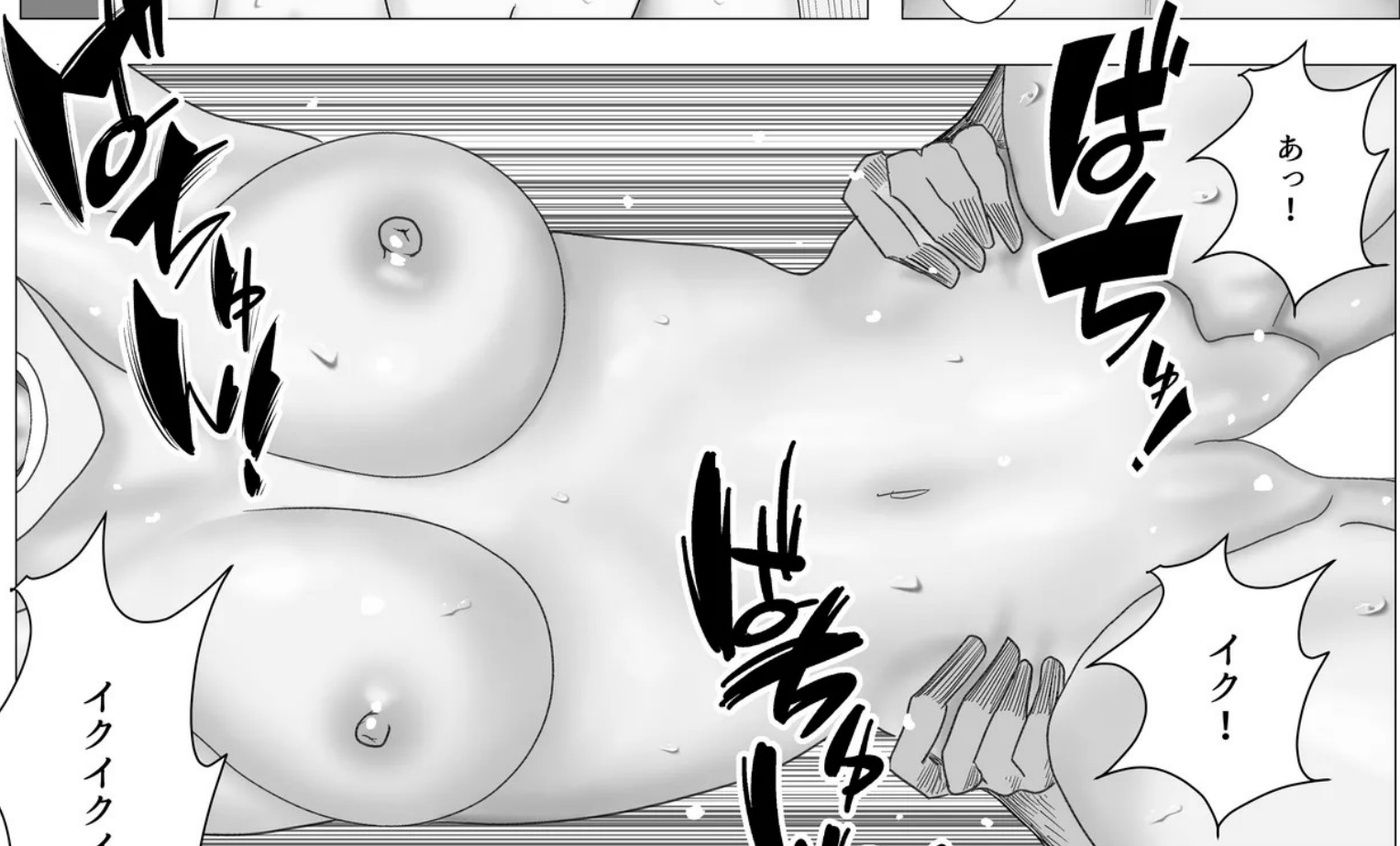
ドキドキ



俺もイキそうだな

ルリ、
いっしょにイクぞ

ハッ



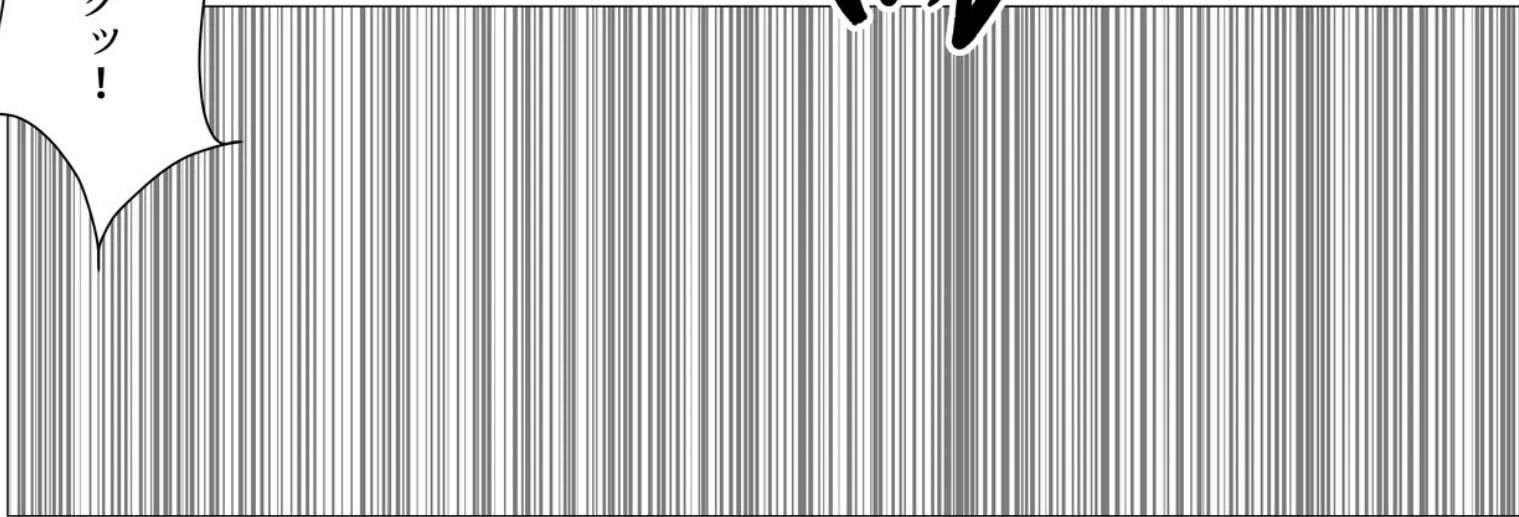
あっ!

イク!

ぼん!

はっ!

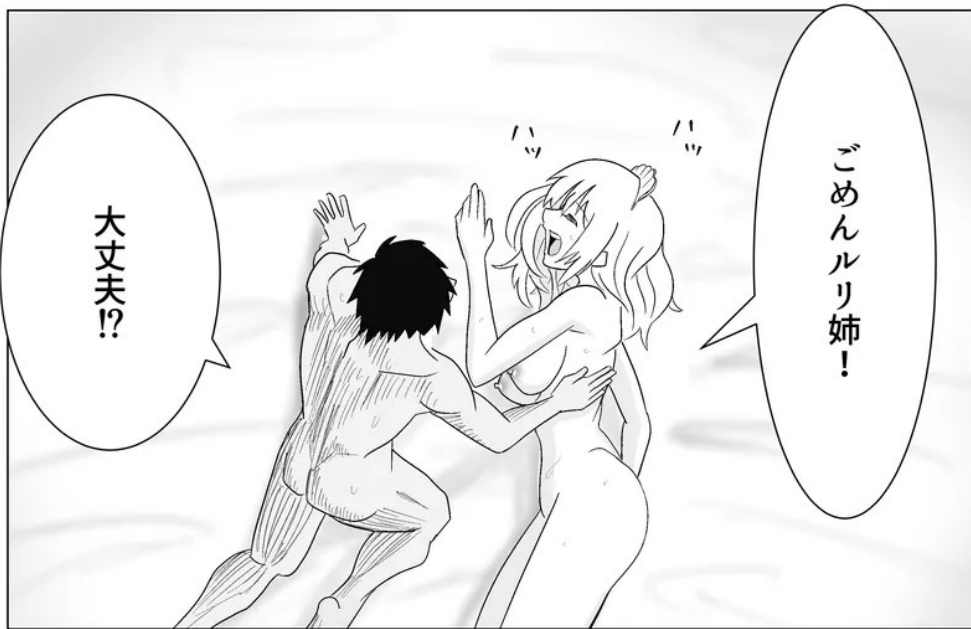
イクイクイクツ!





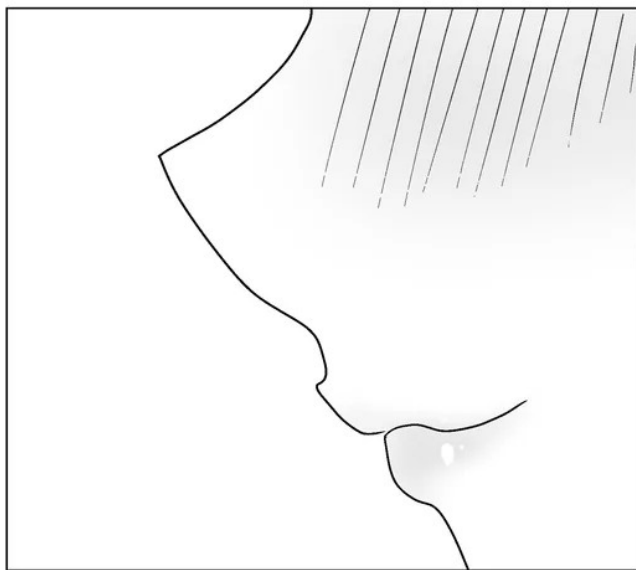
あぁっ！

びしょ
ん



大丈夫!?

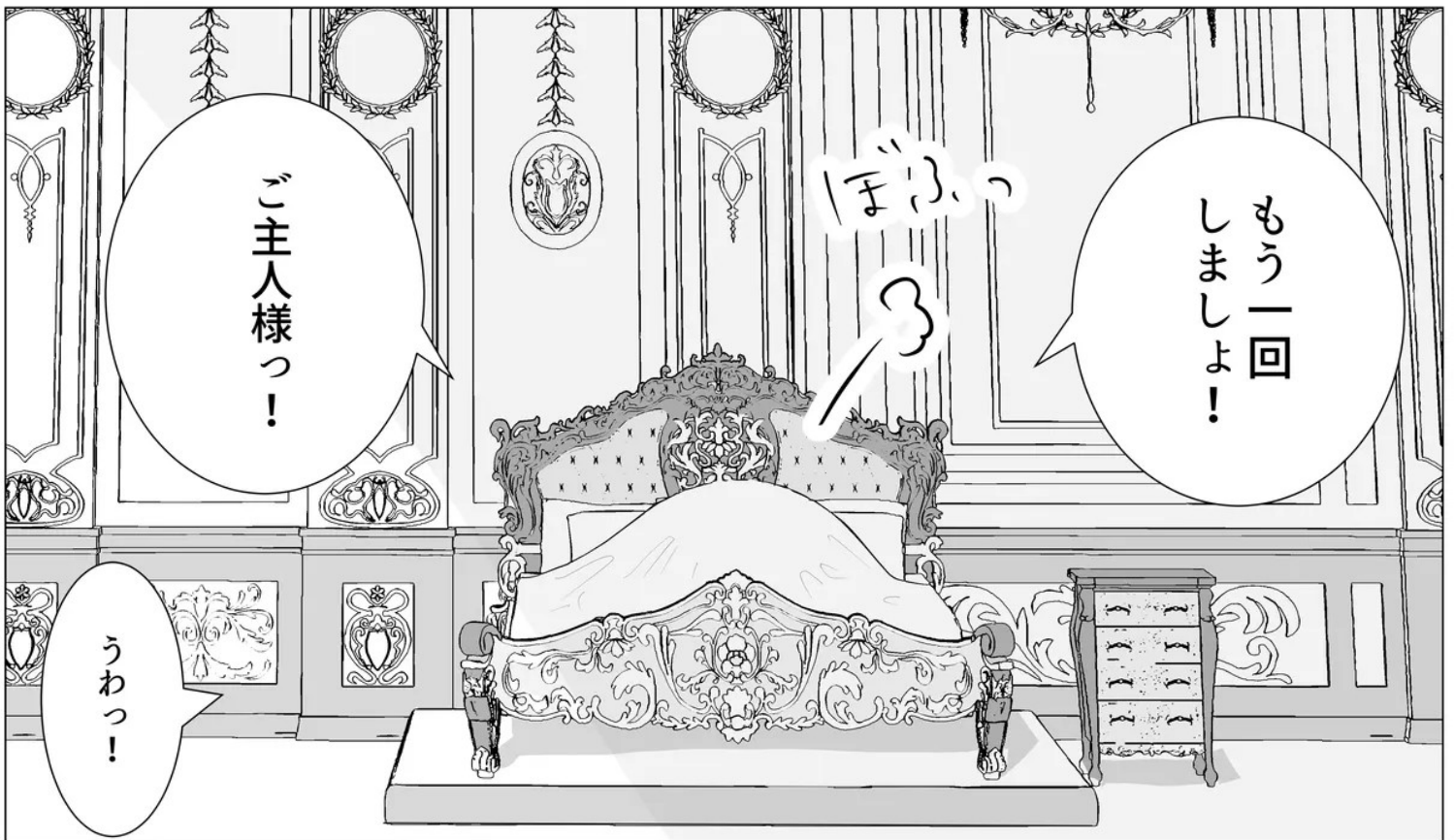
ごめんルリ姉!



痛くなかった?



俺、なんか
変なスイツチ
入っちゃってさ



ご主人様っ!

もう一回
しましょ!

ほっ
ほっ

うわっ!

事後

ネットごメイドものの
AVを観て...

どこであんな
プレイおぼえたの？

